

筑波大学 生命環境学群 地球学類

大学説明会 2020

筑波大学 生命環境学群 地球学類

大学説明会 2020



もくじ。

第1章 学類紹介編

- P.5 学類長より
- P.6 地球学類について
- P.7 地球学類のカリキュラム
 - 単位について 科目について
 - 授業紹介 地球学類の時間割 巡検
- P.13 資格を取ろう

第2章 受験勉強編

- P.14 入試の仕組み
- P.15 入試スケジュール

～合格体験記～

- P.16 前期日程 英語
- P.17 前期日程 数学
- P.18 前期日程 物理
- P.19 前期日程 化学
- P.20 前期日程 生物
- P.21 前期日程 地学
- P.22 前期日程 地理
- P.23 推薦 入試
- P.24 推薦 入試
- P.25 浪人生
- P.26 コラム

※合格体験記は、学生本人の体験に基づいたアドバイスです。

※このパンフレットに記載されている内容は2020年度に基づいており、カリキュラムや入試関係の事柄等が変更になる場合がございます。

第3章 学生生活編

- P.28 つくば市
- P.29 大学周辺案内図
- P.30 サークル紹介
- P.32 住まい
- P.34 経済事情
- P.35 アルバイト事情
- P.36 筑波 大生の一年間
- P.37 学園祭・宿舍祭
- P.38 第一エリア地図
- P.39 筑波 大学用語集
- P.40 交通事情
- P.41 あとがき



第1章

地球学類の紹介



01 学類長より

地球学類は2007年に設置された新しい学類ですが、その前身は筑波大学第一学群自然学類

（1973-2012）、東京教育大学理学部地学科（1949-1978）、東京文理科大学地学科（1929-1953）であり、さらに東京高等師範学校専攻科まで遡ると100年をはるかに超える長い伝統をもっています。筑波大学の開学以来、すでに2000人を超える人材を社会に送り出しており、彼らは民間企業、公務員、中高教職員、大学教員、研究者など様々な分野で活躍しています。

地球学類で扱っている「地球学」は、私たちの生活と密接に関係している学問分野といえます。例えば、日本各地で発生している豪雨とそれにとまなう洪水や土砂災害、近い将来必ず起こると言われている南海トラフ大地震、九州各地や箱根などでの活発な火山活動のような自然現象は、大きな災害をもたらすことが予想されます。しかし、これら自然現象が発生するメカニズムやその周期性については、ほとんど分かっていないのが現状です。「地球学」では、現在の地球規模で起こっている様々な自然現象や環境問題を考える空間軸と、地球の歴史や生命の進化を考える時間軸を根幹として、さらにその地球上で生活する人間活動を1つのシステムと考え、その地球システムの中で起こる諸現象を理解して未来を予測し、諸問題を解決していくことを目標としています。

地球は誕生してから現在までの約46億年間、常に環境を変化させてきました。一般的にその変化はゆるやかなものであり、生物はその状況に応じて多様な進化を成し遂げ、地球上の様々な環境条件に適応してきました。しかしながら過去数世紀間の環境破壊、環境汚染、地球温暖化、地球資源の枯渇、人口爆発などによる急激な地球環境の変化は、人類を含めたすべての生物の生存を脅かす危機的な状態を生み出しています。地球環境や自然環境が適切に保全され、将来の世代が必要とするものを損なうことなく生活していくためには、地球環境をとりまく諸課題を私たちの世代が可能な限り解決していく必要があります。

私たち地球学類では、このような社会的要請に応じて持続可能な人間社会の構築に貢献し、科学的な視点のもとで諸問題を解決できる人材を育成すべく、教育・研究を行っています。しかし、このような地球に関する諸問題を完全に解決する術はなく、私たちの力で様々な問題を一つずつ理解して解決していくしかありません。若い高校生みなさんが、この大学説明会を通して地球学類の教育・研究内容について知っていただき、近い将来私たちと一緒に地球について学んでいただけることを期待しています。

02 地球学類とは？

学生挨拶

地球学類2年 大学説明会委員会委員長 豊永 健人

本日は2020年度地球学類のオンライン説明会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、このような形での開催となってしまいましたが、できる限り内容は分かりやすくお伝えできればと思っております。私たち地球学類大学説明会委員会は、地球学類に興味を持ってくださっている皆さんのお役に立てればと思い、このパンフレットをはじめ、説明会に向けて準備を進めて参りました。ぜひ、最後までご覧になってください。

さて、筑波大学生命環境学群地球学類では、人文地理や大気科学、地層学、鉱物学など、幅広い分野を学ぶことができ、それぞれの分野を追究できる環境が整っています。分野の幅広さゆえ、個性的な仲間と出会えることも、地球学類の大きな魅力です。

また、他学類の授業を受講することができるなど、総合大学ならではの利点を生かして、自分の興味に様々な方面からアプローチできます。

最後になりますが、本日の説明会やこのパンフレットが皆さんの進路選択の参考になれば幸いです。

春に皆さんとお会いできることを楽しみにしています！

主専攻紹介

地球学類には2つの主専攻、各専攻に6つの分野、合計12の分野から構成されています。

地球環境学主専攻

◆人文地理学

Keywords: GIS・文化景観・都市空間構造

◆地誌学

Keywords: 人間環境システム・ツーリズム空間

◆地形学

Keywords: 堆積作用・気候変動と地形変化

◆水文科学

Keywords: 水循環・水質汚染・地下水の流動

◆大気科学

Keywords: 天気予報・気候変動・大気循環

◆環境動態解析学

Keywords: リモートセンシング

地球進化学主専攻

◆地史学・古生物学

Keywords: 生物の進化・DNAの解読

◆地層学

Keywords: 古環境の復元・堆積岩・古海洋学

◆地球変動科学

Keywords: 沈み込み帯・地震・岩石の破壊運動

◆岩石学

Keywords: 火成岩と変成岩・大陸の移動と衝突

◆鉱物学

Keywords: 結晶の構造解析・隕石の成因

◆惑星資源科学

Keywords: 鉱物資源・メタンハイドレート

03 単位について

University of Tsukuba School of Life and Environmental Sciences College of Geoscience

大学を卒業するためには、一定数の単位を修得しなければなりません。単位というものは、その授業の内容を理解したとみなされた上で与えられるものです。単位を修得するには授業に出席することを前提として、試験やレポート課題による評価を受けて合格しなければなりません。真面目に授業を受けてしっかり勉強する、ということは当たり前のことであれど大切なことなのです。

なお、卒業に必要な単位数も決まっています。地球学類では124単位を4年間で修得する必要があります。これとは別に1年間で履修することのできる単位数も決まっています。地球学類では年間45単位まで履修できるようになっています。また、1年間で15単位以上修得できなかった場合は除籍処分になることがあります。

単位数を考える際には、右下の表の必修科目・選択科目・自由科目といった区分についても考慮に入れる必要があります。

左下の表は、筑波大学における単位修得の流れを示しています。

単位修得までの流れ

1. TWINSでの履修登録

自分が受ける科目は全て TWINS (Tsukuba Web-based Information Network System) というインターネット上のシステムによって履修申請をします。履修申請できる期間が限られているので、忘れないようにしなければなりません。

2. 講義を受け、試験へ

普通の科目は、履修申請したら授業を受けて、学期末の試験を受けるかレポートを提出して評価を受けることになります。A+、A～Dの5段階で成績が評価され、Dの場合は単位が認定されません。地球学類では日本各地や海外での野外実験が開設されています。

3. 成績発表

自分の成績についても TWINS で確認することになります。通常は期末試験が終わってからおよそ3週間くらいで成績が TWINS 上に表示されます。

履修申請区分

大学では授業がいくつかのグループに分類されています。

ここでは、必修科目・選択科目という分類方法について説明します。

★必修科目

必ず履修しなければならない科目です。英語・体育・情報などの共通科目や、地球学類の専門基礎科目である地球環境学や地球進化学なども含まれます。これをとらないと卒業することができません。

★選択科目 1

[専門科目・専門基礎科目]

定められた科目群の中から選択して履修する科目です。物理や数学などの専門基礎科目と2・3年次の地球学類の専門科目の中から一定の単位数以上を選んで履修することになります。

★選択科目 2

[基礎科目・関連科目]

選択科目よりも幅広い科目群の中から自由に選択して履修する科目です。第2外国語・国語・芸術・哲学、そして数多くの他学類の授業を受けることができます。

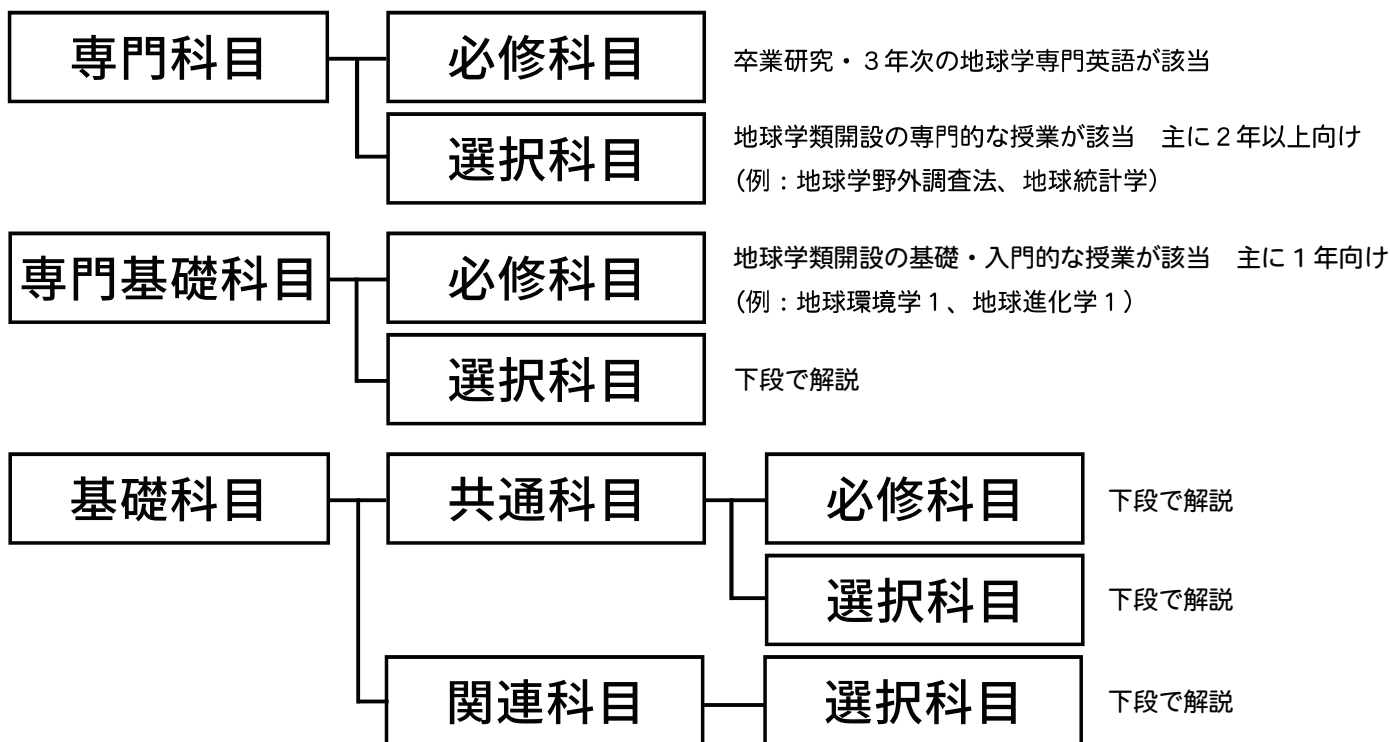
また、上記の説明の選択科目には下限が存在し、一定数以上単位を修得しないと卒業することができないので注意しましょう。

04 科目について

さて、ここでは筑波大学の授業について、中でもその制度や種類についてご紹介します。

筑波大学の授業の分類は「必修科目」、「選択科目」（これについては前のページ参照）という分類、もう一つは「専門科目」、「専門基礎科目」、「基礎科目」、「専門導入科目」です。科目については下の図を参照してみてください。

※この情報は2020年度までの区分です。2021年度からは変更の可能性があるのでご注意ください。



●専門基礎選択科目

数学・物理・化学・生物・生物資源・比較文化・人文・応用理工・工学システム学類の主に1年向けの基礎・入門的な授業が該当します。これらの中から自由に好きな科目を選べます。

(例：線形代数1、化学1、生物資源と環境、応理概論)

●基礎共通科目

筑波大学全体で開かれている科目です。必修科目として1年次の総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）、体育、英語、情報があり、選択科目として総合科目（学士基盤科目）、体育、外国語、国語、芸術があります。フレッシュマン・セミナー：高校におけるロングホームルームのようなものです。大学ではクラス単位で行動することは少ないため、クラス内の親睦を深めることのできる貴重な時間です。

体育：2年次まで体育があります。2年までで3種類の科目をとり、いろいろなスポーツを体験できます。

外国語：地球学類生が必修の外国語は英語のみですが、中国語をはじめとする第2外国語も履修できます。

情報：高校での情報の授業に当たり、講義と演習、データサイエンスの三つの授業が必修です。

●基礎関連科目

いわゆる自由単と呼ばれているものです。選択科目しかなく、他学類開設で専門基礎選択科目に該当しない科目は全てこの科目に充てられます。地球学類でも、日本文化や心理学、社会学の授業のように全く地球学類と関係なくとも興味がある学類の授業をとれるという制度です。ただ、最低限の数を取らないと卒業できない面もあります。

★専門導入科目

専門導入科目とは各学問分野への入門的な科目で、高校卒業程度の知識を前提とした科目なので気軽に受けることができ、総合選抜による学生の2年次での移行先への判断材料にすることができます。

05 授業紹介

ここでは、地球学類の専門科目・専門基礎科目・専門導入科目の中からいくつかの科目を紹介します！

■ 地球環境学

1 年次・専門基礎必修科目

この科目では大気科学や水文学などの理系分野と、人文地理学や文化地理学などの文系の分野の両方の側面から、地球の環境について学習します。

■ 地球進化学

1 年次・専門基礎必修科目

この科目では地質学や岩石学、古生物学など、地球の過去から現在に至るまでの進化の過程について学習します。

■ 人文地理学

2 年次・専門選択科目

人文地理学の歴史を説明するとともに、課題や研究手法について具体例とともに説明します。町の見方が変わるかも？

■ 地形学

2 年次・専門選択科目

地球上の様々な地形を紹介し、その成り立ちについての理解を深めます。

■ 大気科学

2 年次・専門選択科目

降雨や降雪といった気象や地球温暖化、エルニーニョ現象など大気圏に関する現象とその動態プロセスについて研究手法とともに解説します。

■ 生物圏地球科学

2 年次・専門選択科目

地球上で生息していた過去の生物と当時の地球環境の様子、層序学などの基礎を学びます。

■ 地球物質科学

2 年次・専門選択科目

地球を構成する物質である岩石や鉱物について分類・特徴・多様性・生成機構の知識を習得します。また、環境問題など地球規模課題も考えます。

■ 環境動態解析学

2 年次・専門選択科目

地球表層で発生する諸現象とその動態プロセスを探究する「環境動態解析学」の基礎的な知識を習得し、科学的な思考を身につけます。

他にも面白い授業がたくさんあります！
また、野外実験（巡検）も充実しています♪

06 地球学類の時間割

大学生活の大きなカギを握る時間割。ある地球学類生の時間割を一例に、大学の時間割について紹介します。

地球学類を含め一般的に大学では、自分の受けた授業を自由に選択して、自分専用の時間割を組むことができます。筑波大学では、75 分間の授業が6 時限目まで続きます。この枠の中に必修科目や選択科目が入り、空いている時限（空きコマ）はフリーな時間になります。空きコマでは、関連科目を履修したり、帰宅したり、図書館や控室で自習の時間に使えたりします。

筑波大学の大きな特徴として、「他の学類が開設している授業を履修できる」ことが挙げられます。他大学では、他の学部の授業を履修できないことが多いですが、筑波大学では他学類が開設するほとんどの授業を履修でき、卒業要件として単位に組み込むことができます。例えば、大気科学を学びたい場合、流体に関する物理の知識が必須です。地球学類が開設する物理の授業でも十分対応できますが、より深く学びたい場合、物理学類が開設する更に専門的な物理の授業を受けることができる、ということです。

※ 1 年生の時間割は、2020 年度入学者と同様に 1 年次から地球学類に在籍している学生の例を挙げます。

1 年生の時間割

▶ Comment

基礎レベルの地球科学を学ぶのはもちろん、地球科学を学ぶ上で必要になる数学、物理、化学の科目を受けます。必修の体育や英語の他に、他学類の入門レベルの内容の授業を受ける専門導入科目が設けられているなど、盛りだくさんな日課をこなします。1 年生は空きコマが少なく、大学生活に慣れるのも大変です。地球に関する授業も少ないですが、今後楽にするためだと考えて頑張りましょう！

注：黒地は必修科目です。

1 年春 B	月	火	水	木	金
1 時限目 8:40 ～ 9:55	力学 1	化学 1	情報 リテラシー	英語	微積分演習
2 時限目 10:10 ～ 11:25	線形代数Ⅰ	数学 リテラシー 2			線形代数演習
昼休み 11:25 ～ 12:15					
3 時限目 12:15 ～ 13:30		体育	数学 リテラシー 2	地球環境学 1	
4 時限目 13:45 ～ 15:00		フレッシュマン・ セミナー	地球進化学 1		
5 時限目 15:15 ～ 16:30					
6 時限目 16:45 ～ 18:00	英語	微積分Ⅰ	電磁気学Ⅰ		

2 年生の時間割

2 年春 B	月	火	水	木	金
1 時限目 8:40 ～ 9:55	流れの科学	人文地理学	地球物質 科学 A	地誌学	地球基礎数 学・物理学
2 時限目 10:10 ～ 11:25		大気科学		水文科学	
昼休み 11:25 ～ 12:15					
3 時限目 12:15 ～ 13:30	微分方程式 入門	交通計画		体育	経済地域論
4 時限目 13:45 ～ 15:00	地球学実験				
5 時限目 15:15 ～ 16:30					
6 時限目 16:45 ～ 18:00	地球変動・ 資源科学 A	生物圏 地球科学 A		地球学専門 英語 1A	世界地誌 I

▶ Comment

2 年生の時間割です。必修科目は減り、自分が進みたい専攻に応じた科目を選択して履修します。専門的な授業内容が増え、いかにも地球学類という感じです。余裕のある日課となる分、自学自習の時間を持てたり、他学類の授業を自由単位として履修することができます。また、土日や長期休暇には野外実験（巡検）の授業が開講され、実際に現地に向かい、地球科学現象を観察します。

07 巡検

地球学類の特徴ともいえる、実験や野外巡検を簡単に紹介します！
二年次以降は専門的な巡検がいくつも行われますよ♪

地球学実験 (2 年次)

地球学を学ぶ上で重要である、基礎知識を学びます。毎回違う分野の先生がそれぞれ専門のテーマと課題を用意してくださり、実験をします。実験といっても、化学や物理のようなものとは異なり、化石や鉱物の観察、分布図や湖盆図の作成、数値計算処理など、地球学類ならではの実験を行います。



右の写真では露頭を観察しています。

地質学基礎野外実験 (2 年次)

地球についてより深く学ぶために、学外へ出て実験や観測をします。
この野外巡検は地質学に関するもので、火成岩、変成岩、堆積岩地域などの基礎調査を行います。
2019 年度は 4 月から 5 月に 3 回に分けて行われ、袋田の滝、筑波山、三浦半島に行って実験をしました。

大気科学野外実験 (2 年次)

大気科学についてより深く学ぶために、講義だけでなく学外へ出て実験や観測、施設見学を行います。
この野外巡検は大気科学に関するもので、測器の使い方や気象観測、データの整理の方法を実技を通して学びます。

この他にも人文地理学・地誌学・地形学・水文科学・環境動態解析学・地質学に関する野外実験もあり、非常に幅広い分野で多くの野外実験が組まれています。

08 資格を取ろう！

地球学類と資格

このご時世、持っていて損をしないのが、資格です。

資格を持っていることで就職の際に有利になることもありますし、特定の資格を持っていないと就くことのできない職業もあります。

ここでは、筑波大学地球学類在籍中に取得できる主な資格を紹介します。

学芸員

これは博物館で働くための資格です。博物館の概念は広く、美術館や資料館はもちろん、動物園、水族館まで含まれます。主な仕事は収集・保管・展示・調査研究や、利用者に対しての助言や指導、講演会等での講義があります。この資格を取るには、通常履修する科目に加えて「博物館に関する科目」等を履修する必要があります。

教員免許

教員免許を取得するには、通常履修する科目に加えて決められた科目を履修しなければなりません。履修する科目が多いので、長期休業中に集中講義を受講して単位を取るものもあります。地球学類で取得できる教科は中学理科・高校理科・高校地理歴史です。

社会教育主事

これは、都道府県及び市町村の教育委員会に必ず配属される職員で、社会教育を行うもの（公民館・博物館・図書館など）に専門的・技術的な助言や指導をします。

社会教育主事として仕事をするには地方公務員として採用され、社会教育施設に所属する必要があります。「社会教育に関する科目」を履修する必要があります。

GIS 学術士

GISとは、地図情報にあらゆる情報を加えて、視覚的に情報発信・管理ができるシステムです。GIS学術士は、この学術を有するものとして（社）日本地理学会から認定を受けるものです。決められた科目を履修し、4年次にGISを用いた卒業研究をする必要があります。

司書・ 司書教諭

司書は都道府県や市町村の公共図書館などで図書館資料の選択・発注及び受け入れから、分類・目録作成・貸出業務・読書案内などを行う専門職員です。

司書教諭は学校図書館限定の司書です。司書でも必要となる「図書館に関する科目」の履修の他に教員免許状の取得が必要となります。



第2章 受験勉強編

01 入試の仕組み

このページでは地球学類に入るための入試について解説します。2021年度から総合選抜入試が加わり、入試方法が大きく変化しましたので常に最新の情報を筑波大学アドミッションセンター (<https://ac.tsukuba.ac.jp/nyushi>) や地球学類の公式ホームページ (<https://www.earth.tsukuba.ac.jp/>) にてご確認ください。

II 入試方法

1. 前期試験 [学類・専門学群選抜] 21名

最も定員人数の多い試験です。試験の点数で合否が決まります。試験には、大学入学共通テストと2次試験の個別学力試験があります。2次試験の配点が高いですが、共通テストもおそろかにしないようにしましょう。二次試験は大学が作成した問題に取り組みます。「数学」「英語」の2科目と「物理・生物・化学・地学・地理B」の中から2科目の合計4科目の試験を1日で実施します。

2. 前期試験 [総合選抜] 13名

新設された入試方法です。理系Ⅰ～Ⅲと文系という4分類から1つ選んで試験を受けます。1年次は総合学域群に所属しどこの学類も属さずに興味がある講義を受講しどこの分野に興味・適性があるか吟味した後に2年次に各学類・専門学群に移行される制度です。

地球学類に総合選抜から入るには理系Ⅰ・理系Ⅱを選ぶとそれぞれ6名・4名の枠があるので地球学類に興味はあるが他学類にも興味があり、決めきれないという方は良いでしょう。なお、理系Ⅰは二次で物理が必須で化生地から1つですが合格者は多く、理系Ⅱは反対に理科4科目のうち2科目選べますが合格者は少ない枠になっています。もちろん、文系・理系Ⅲからも若干名ですが移行できます。

3. 後期試験 4名

前期試験と同様に、共通テストと二次試験の個別学力検査が課せられます。この二次試験では、文系・理系に問わず幅広い地球関連知識を求められる小論文に取り組みます。前期試験が終わった後も気を抜かず頑張りましょう。

4. 推薦入試 12名

この入試は高校での学業成績なども評価されます。試験では、小論文と面接が課せられます。小論文では英語力を含む地理・地学関連現象メカニズムの理解度が問われ、面接では志望動機や問題分析力が試されます。

上の4つが主な入試方法ですが、この他に若干名を定員とした、国際バカロレア特別入試・私費外国人留学生入試・私費外国人留学生特別プログラム入試といった特色ある入試方法があります。詳しくは一番上のHPリンクをご確認ください。

02 入試スケジュール

	前期試験 (学類選抜・総合選抜)	後期試験	推薦入試
募集人数	21人 + 13人	4人	12人
10月	大学入試共通 テスト出願	大学入試共通 テスト出願	
11月			出願 試験
12月			合格発表
1月	大学入試共通 テスト 出願	大学入試共通 テスト 出願	
2月	2次試験		
3月	合格発表	2次試験 合格発表	

03 合格体験記 前期・英語

前期日程 英語 地球学類1年 平田 佳紀

英語の学習に関して最も大事にしてほしいこと、それは何だと思いますか？ そうです、『単語』です。英語において単語は基礎中の基礎です。基礎中の基礎であるがゆえに、最も重要なのです。単語がわからないと長文が読めないだけではなく、文法問題でも足を引っ張ってしまいます。それだけ、単語は英語において非常に重要です。大事なことなので二回言いました。決しておろそかにしてはいけませんよ。今回は自分の対策法を中心に紹介します。参考にしていただけると幸いです。

今年の受験の大きなハードルとなるのは、なんといっても共通テストです。大学入試センターのE2にあるブレテストの問題をざっと見てみました。リーディングに関して問題の難易度としてはセンター試験と大差ない印象でした。リスニングに関しては一回しか読まれない問題が半分を占めるため、センター試験と比べて難易度は格段に上がります。しかし、しっかり対策をしていけば確実に点数は取れます。

リスニングの対策として、私は夏休みくらいまでは学校で週何回か行われるリスニングの対策しかしていませんでした。そのためなかなか点数は伸びず、もともとリスニングは苦手だったので、自分にとって悩みのスマホでアプリを使ってTED TALKSを聞いて耳を慣らしていました。耳を慣らすことだけが目的でしたが、効果はしっかり現れました。センター試験直前期はセンターの過去問を毎日解いて、間違えたところを何度も聞き直すなどしてなぜ間違えたのか理解していました。間隔をあけて同じ問題を再度解くのも効果的です。センター試験の過去問もうまく活用してください。リーディングの対策は次の段落で二次試験と一緒に紹介したいと思います。

さて二次試験の対策ですが、問題構成は知っているものとなります。長文読解の対策として、私は復習を重視しました。模試や定期テストを解いた後にすぐ復習し、訳と照らし合わせて文章中の単語や熟語の使い方と意味を理解していました。これは自由英作文対策にもつながりました。共通テストの直前に共通テストレベルの問題を復習するときでも、二次試験を意識した復習に取り組めば、より自分の身になる効果が得られます。二次試験の直前はひたすら過去問を解いていましたが、筑波大学の過去問だけでなく併願して受けた大学や旧帝大レベルの過去問も解いていました。様々な難易度に対応できます。

自由英作文対策としては、センター前には他大学の和文英訳で定型文や語彙を増やし、二次試験の直前には筑波大学の過去問を解いていきまし

た。自由英作文で自己採点するのは難しいので、信頼している学校や塾の先生にお願いすると効果的です。自分がやりやすいミスもわかり、新しい定型文なども学べます。

筑波大学の英語は解答時間が十分にあるため、ほかの大学と比較して解きやすいです。共通テストでは特に時間配分は非常に重要ですから、模試だけでなく過去問を解くときも常に意識してください。

最後に体験談らしいことを書きます。センター試験の演習では筆記で八割は固く、苦手なリスニングで八割を目指していました。しかし本番を迎えると、本試験でリスニングは八割を超えましたが筆記で六割五分という悲惨な結果となりました。本番中の空気にのまれ、焦ったことが原因です。最終的にボーダーぎりぎり二次試験を受けることになってしまいました。受験には魔物が潜んでいます。こんな自分の話を最後までお読みいただきありがとうございます。つらいと思いますが最後には解放されます。あなたの夢に向かって頑張ってください。応援していますよ。

おすすめ参考書

・東大英熟語鉄壁

言わずと知れた最良単語帳(個人比)。もうみんな持っているのではないかとはいくらか有名。それだけ覚えやすいということ。量も質も両方兼ね備え、覚えて得しかない単語だらけ。私は非常にお世話になりました。

・英単語アプリ mikan

参考書ではないが鉄壁と並行して活用していた無料アプリ。発音機能が魅力的。時間制限が短いため単語を見てすぐ意味が出てくるようになる。友達とも競い合える。有料だが鉄壁版や熟語、古文単語も。おすすめです。

04 合格体験記 前期・数学

前期日程 数学 地球学類1年 M.Y

主に筑波大学の2次試験について述べる。少しでもお役に立てれば幸いだ。

数学の重要性

地球学類前期試験を受けるにあたって、数学は重要な科目である。

地球学類の点数は、センター試験が450点満点、二次試験が550点で1000点満点である。そのうち数学の点数は、センター試験は100点、2次試験は200点とかなりの割合を占める。よって数学には特に力を入れる必要がある。

数学の範囲

筑波大学の2次試験における数学の範囲は数学Ⅱ・Ⅲである。ただし、数学Ⅰ・Ⅱは前提として問題が出るため、例えば二次関数が全く出ないという意味ではない。筑波大学程度のレベルの国公立大学において数学Ⅰ・Ⅱが範囲外であることは珍しい。数学Ⅰ・Ⅱが除外されるということは、受験生の多くが苦手とする整数問題が出ないということを意味する。よって整数問題は、筑波大学のみを受験する人はセンター試験のみ、私立受験を併願する人は整数問題対策に力を注ぎすぎないようにするのが作戦の一つと言える。

全体としての傾向

筑波大学の数学は、同じレベルの国公立大学と比べると基本的な問題が多い。計算が多少複雑なことはあるものの、そこまで重くはない。計算の量の感覚は過去問を通してどの程度か感覚を掴んでおくといい。また、誘導問題がかなり多い。その大問における前の問題が使えないか常に考えながら解くと良い。前の問題が使えないかどうかは、試験になると意外と頭から抜けてしまう。日頃から前の問題を使えないか意識して問題を解くことが大切である。また、全問記述式であるため、数学を記述する力も必要となる。塾や担任の先生など身近な人に過去問を添削してもらうのが良い。

数学Ⅱ・Ⅲ

大問1・2・3は数Ⅱ・Ⅲからの出題で、地球学類は任意の2問を選択する。ベクトル、数列、図形と方程式、微積分などが多く出題される。数学Ⅰ・Ⅱが範囲外であることもあり比較的対策がしやすい。また、どの

2問を選ぶかは非常に重要である。計算量や難易度は各大問大差ないので、ある程度頭の中で解き方の道筋を立て、解けそうな大問2つを選ぶと良い。各大問の最初の問題だけ解いてみて問題の感覚を掴むのも良いかもしれない。

数学Ⅲ

大問4・5・6は数学Ⅲからの出題で、地球学類は全問必須問題である。4・5は微積分や関数の極限からの出題が多い。6は複素数平面の出題が多い。実は2015年は教育課程の変更により複素数平面が新しく数Ⅲの範囲に加わった。この年は多くの国公立大学は複素数平面の出題をするのではなく、様子を見た。しかし、筑波大学は数少ない2015年に複素数平面を出した大学である。複素数平面が好きな大学といっても過言ではない。よって、複素数平面の対策をすることは非常に重要である。一般的に難しいと言われている複素数平面であるが、この点差のつきやすい複素数平面をマスターすれば40点分の差が開くので、複素数平面を得意にすることは一つの手かもしれない。

おすすめ参考書

・青チャート

高1高2の早い段階で数学ⅠAⅡBを一通りやるべき。問題集は単にやるだけでなく、やり方が重要である。青チャートの進め方は『和田式要領勉強術数学は暗記だ！受かる青チャートの使い方』を読むと良い。

・微積分への極意

問題の難易度は高めのため一通り数学Ⅲをマスターしてからやるべき参考書。この参考書の内容ができるようになれば、難易度の高い数Ⅲの極限や微積分の問題にある程度対応できるようになる。

05 合格体験記 前期・物理

前期日程 物理 地球学類1年 三浦むぎほ

こんにちは。地球学類一年の三浦むぎほと申します。ここでは物理の説明をさせていただきます。

夏休み中

夏休みの間は、まだ授業内容が終わっていないなら、今までやったところの復習（特に「物理」での内容）をしっか行ってください。他の教科との兼ね合いもあるでしょうが、理科に割く時間は全体の四割から五割くらいにするとういかもしれません（覚えることが多いから）。このとき、自分は物理が苦手だったので、基本問題が詰まった問題集を主にやって、入試問題向けの問題集は夏休みの終わりに少しだけやりました（というよりほぼやっていないです）。

夏休み明けから冬休み前まで

この頃から入試問題向けの問題集を始めました。この間に、問題集の中でも難しめのやつをやっておくと良いです。また、問題演習がある程度進んでいたら、過去問を解いてみていいかもしれません。このあたりから、理科も毎日やることをお勧めします。

冬休みからセンターまで

ほぼ毎日センター演習の問題を解いていました。実際に時間を設定して、予想問題を解いて、苦手な分野については、分野別問題集を使って演習していました。センターで原子分野を解くつもりであるなら、その対策も忘れないようにしてください。

センターから二次まで

この期間が恐らく一番勉強していました。センターの結果が気になりますが、この間はセンターの結果なんて忘れてください（良くても悪くても！）。それよりもとにかく勉強してください。この頃は、入試問題向けの問題集、過去問をひたすら解いていました。また、筑波の二次は原子分野が出てくる可能性があるのです、その対策も行ってください（今までの問題集とか過去問とかで）。この頃は新しい問題集には手を出さないほうがよいです。また、物理が苦手な人は、応用問題ばかり、というのをお勧めしません。基本問題を着実に、過去問を時間を計って解いて、間違えたところは何度も繰り返し返してください。そして、記述対策として、自分が解いた問題を先生に添削してもらいましょう。

アドバイス

分からないことはすぐに先生やできる人に聞く。

センター前と二次試験前はほぼ毎日聞きに行っていました。聞くときは、どこまでやってどこから分からなくなってきたか、どうしてその考えになったか、等詳しく説明すると良いです。聞きづらかったら、できる人に、それでもわからなかったら、迷惑がられても先生に聞きましょう！

とにかく数をこなす

一つの問題に時間をかけすぎると、解く問題量も減ってしまいます。そのため、分からなかったらとりあえず後回しにして、答えを見るなり質問するなりしましょう。（二次試験前は特に）

周りの評価を気にしない

自分の中では一生懸命やっているのに、勉強時間が少ないと言われるかもしれません。確かに量は大事ですが、質も大事だし、個人の生活リズムとの兼ね合いだってあります。そのため、「今日は〇時間しかできなかった」と落ち込むのはやめましょう。

テストの点数を自慢したりする人もいましたが、それを聞いてモチベーションが下がるなら、その人とは距離を置いて、会話が聞こえてこない所で勉強しましょう。

センター試験で思うようにいかなくて、先生や親に、志望校を変えるように言われることがあるかもしれませんが（自分もそうでした）。それでも、どうしてもそこがいい！というのなら、そんなことは無視しましょう。それよりも、あと何点二次試験でとるか、どの教科で何点分とるか、ということだけを考えて、黙々と勉強してください。

今年は特にいろいろ不安があるかもしれませんが。それでも焦らずに、じっくりと頑張ってください。体調管理にも気を付けてくださいね。

おすすめ参考書

「センター試験 物理単元別問題集（駿台文庫）」

単元ごとに分かれており、一つの単元のなかでも類題がたくさん入っているので、苦手な分野を集中して演習することができます。いくつか問題をピックアップして、時間を計って解いてみると良いでしょう。

「2019 物理重要問題集（数研出版）」

入試問題向けの問題集です。このA問題だけでもかなり解きごたえはありました。時間を計って繰り返し解くことで、かなり力がつくとおもいます。また、解答・解説も細かく書かれていて分かりやすいです。

06 合格体験記 前期・化学

前期日程 化学 地球学類1年 鈴木 美洸

皆さんこんにちは。地球学類一年の鈴木美洸です。ここでは、化学の受験勉強について、私の経験をもとに書いていきたいと思います。はじめに、皆さんは化学に苦手分野がありますか？もちろん、受験では苦手分野を無くし、得点を取り切らなければなりません。しかし、もともと私は、式がたくさん出てくる理数系は得意ではなく、暗記系の方が得意だったので、とにかく理論化学が苦手な得点がありとれていませんでした。なので、私の場合は理論化学で解ける問題を取りこぼさないようにし、無機・有機化学を得点源にして理論化学をカバーするという風に勉強していました。入試制度の変更の影響で問題に違いは多々あると思いますが、人それぞれに合う勉強法と合わない勉強法があります。私の勉強法が正しいという保証はありませんが、これから紹介する話の中で少しでも皆さんの役に立てると嬉しいです。

まず初めに書いておきたいことは、夏休みの勉強についてです。夏休み中には、少なくとも1回は大学の過去問を必ず解き、自分の現在のレベルを知り、到達すべき目標を明確にしましょう。また、問題演習をたくさん行いつつ、復習をしっかり行い、自分の弱点を見つけて基礎を固めていくことがこの時期は最も大事です。

では、ここからは具体的な勉強法などについて書いていきたいと思います。

まずは理論化学です。理論化学は、物質の構造や原子、イオンなどの化学の入り口となる分野から、酸と塩基や酸化還元反応といったような無機・有機化学とのつながりを持つ応用的な分野まで幅広くなっています。無機・有機化学と比べると計算量が多くなっており、この点において苦手意識を持っている方もいると思います。理論化学では、出てくるたくさんの公式をむやみに暗記しようとするのではなく、式や現象についての基本事項をしっかりと理解することが大切です。また、問題演習を行う際にも、様々な問題パターンに触れておくことが大事です。化学の分野では理論化学が最も早く終わるので、しっかりと復習と問題演習をこなして完璧にしておきましょう。

次に無機化学です。無機化学では、暗記事項が多く、この点で苦手意識を持つ方がいると思います。無機化学で効果的な勉強法は、教科書や資料集に載っている写真などを見ながら覚えることだと思います。写真があると、よりイメージがわきやすくなると思います。また、自分なりにノートにまとめたり、スキマ時間に友人と問題を出し合ったりしても覚えやすいと思います。

そして有機化学と高分子化合物です。これらの分野は最後の単元で演習できる期間が短いにもかかわらず、新しいことが出てきてしまいます。構造決定や高分子の問題はパターンが決まっていることがあるので、この分野もやはり演習を重ねることが大事です。私の高校は夏休み前に有機化学が半分程度終わっていたので、夏休み中に友人といろんな大学の過去問をこなすことで、楽しみつつ有機化学の演習量不足を補いました。

最後に、自分だけではなく周りの人も受験に対して何かしらの不安や悩みを抱えています。過度に自分自身を追い込んでも体調が悪くなるなどして逆効果になってしまうこともあります。なので、勉強を続けるモチベーションを保つためには息抜きや楽しみながら勉強することが必要です。私も、受験勉強の息抜きとして秋に行われる文化祭には参加していましたし、友人と一緒に勉強することで、楽しみながら、あるいは励ましあいながら勉強を続けていくことができました。

つたない文章でしたが、ここまで読んでいただきありがとうございました。最後まであきらめずに頑張ってください。

おすすめ参考書

化学の重要問題集（数研出版）

この問題集は基礎的な問題から入試問題まで扱われており、良問が多くて問題のポイントを押さえやすいと思います。この問題集が完璧に解けるようになれば、大体の問題と戦えるようになると思います。

理系大学受験 化学の新研究（三省堂）

この本は、解き方というよりは本質理解のための本で、大学で触れるような知識がたくさん載っています。大学に入った後も十分に活用することができ、化学への興味をさらに深めるための読み物としておすすめです。

07 合格体験記 前期・生物

前期日程 生物 地球学類1年 盛 雅史

前期で筑波大学を受験しようと考えている皆さんに自分の合格体験を書きたいと思います。

まず、センター試験について話したい。今年度からはセンター試験も共通テストに変わりますが、僕は二次試験前のテストで生物という教科において大切である事に変わりはないと思います。それは安定して点をとる事です。つまり、たとえ得意でない分野しか出題されなかったとしても筑波大学に受かるには八割は取れるようにするという事です。生物はセンター試験の時は特にそうでしたが、よく言われるのは、満点はよっぽど勉強しないと撮れないが、ある程度勉強していれば高得点が取れるという事です。つまり、どういうことかという点、生物における失点は見た目以上に重みがあるものであるということです。ではどうやって点数を安定させるかというと、苦手な分野をなくすということです。ではどのようにして苦手な分野をなくすかという点僕がお勧めすることは友達と問題を出し合って勉強することです。みんな勉強しているので話しかけづらいという人は推薦やAO入試でもう進路が決まった人などに話しかけましょう。大人数だとより良いと思います。これの一つ目の良いところは自分の意思に関係なく満遍なく問題が出題されることです。自分では気づいてはいないかもしれませんがどうしても一人で勉強していると得意分野に勉強が偏りがちになってしまうことが多いです、すると、苦手分野は伸びません。なので、友達に出して貰えばいいのです。特に教科書を見て問題を出してもらうのを勧めしています。そしてもう一つの良い点は何より楽しいということです。テスト前は自分の殻にこもってしまいがちです。それも悪くはないのですが苦行になってしまいます。そういう時こそ友達と勉強することで知識が身につく、さらにリフレッシュになるという最高の方法になると思います。

次に、二次試験について話したいと思います。二次試験で最も大事なのは記述問題である、僕は考えています。そのために、記述問題に特化した問題集を買ってやるというのも有効な方法であると思いますが、それよりもっと良い教材は何よりも教科書であると思います。僕は教科書を全文覚える勢いで何回も読みました。この良い点は教科書のテンプレートと文章が頭の中に入ることです。二次試験ではそのテンプレートの文章をそのまま使うことは減多にありませんが、それらのうちの何個かを組み合わせれば解ける問題はかなりあります。その串の仕方を学ぶために問題集を僕は使いました。二次試験はその前の共通テストで点をとって筑波大学を受けているのであればそこまで気負いする

必要はないと僕は思っています。ただ赤本をしっかりやってどのように記述問題を出题しているかは確認する必要があると思います。

それでは最後に、筑波大学を皆さんは諦めることなく、また後悔するようなことがないように頑張ってください。努力したからと言って必ず報われるとは限らない、だからこそ、報われるまで努力しなくては行けない。

おすすめ参考書

・赤本

筑波大学がどのような問題を出しているかを把握するために使用した。また問題集として活用するため、古いバージョンも買った。中古であれば五百円以下なのでお勧めである。

・教科書

本屋に売っているどんな参考書よりも参考書である。これだけで点数を取ることにはできないがこれともう一つ何かがあれば高得点を取れるであろう。

08 合格体験記 前期・地学

前期日程 地学 地球学類1年 鹿野 友渚

地学は大学受験においてマイノリティーにあたります。多くの高校で地学基礎はあっても地学の授業の開講はありません。教えてもらう人がいない、参考書が少ない、相談できる友人が少ない。多くの地学選択者がぶち当たる壁です。（逆にこれらが一つでもあるなら、貴方は既にライバルより一歩リードしていると考えていいと思います）

一方、地学は一度理解を進めると、基礎の知識で応用的な記述まで出来るようになります。自分は受験を通して、「受験のための地学」は勉強の仕方を工夫すれば独学でも充分に他の科目選択者と闘える分野だと感じました。

どの科目でも同じことが言えますが、大事なのは基礎固めです。ひとつひとつ現象の名前だけでなく、なぜそれが起こるのかまで理解することが大切です。現象の流れを理解しておけば、応用的な問題にも戸惑うことなく対応し易くなります。

私が基礎固めに利用したのは教科書と資料集でした。自分で買いましたが、買って良かったと思っています。高校理科の教科書の強みは読み物のように読んで理解できることです。最初は太字の用語理解を中心に読み進めます。次に、細かい内容まで覚えるということ意識して読みます。最終的にはコラムや追加情報、付随しているイラストなど細かいところまで読むことが大切です。特にイラストを知識と結びつけることで記憶がより確かなものになり、問題を解くことにも繋がるので資料集まで利用しておくべきだと思います。

参考書（後述）を利用して分かってなかったところなどの理解を進めたら、センターや大学の過去問に取り掛かりました。参考書は探せばありますが、問題集がない。というのがこの科目の最大の難所です。それを全て過去問でカバーします。センターは偏りが少ないので、何年か解いて苦手な分野があれば教科書や参考書に戻る。というのを何度も繰り返します。センターがある程度理解できると実感してきたら、二次の過去問と戦ってみると、恐らくしつかり戦える範囲になっていると思います。センターが今年は違う問題なので、予想問題など利用するのもいいかもしれません。

あとは訓練です。特に筑波大の記述は少し長いので何回もやって、なれておくのが良いと思います。いわゆる赤本の解答を丸々覚えるのではなく、教科書や参考書などもみて、自分の言葉で書けるように練習しておきましょう。

分からない部分の解決にはインターネットが案外役に立つと思います。

YouTubeの解説動画、地学についてのブログ、色んなところにヒントは転がっています。相談する人が少ない分、インターネットの情報を活用するのがとても大切な手段になる時があります。個人的には分からないところに時間をかけすぎないのも独学のコツだと思います。私はどうしても分からないところは表面的な文面だけ暗記して、大学に入ってから解決しようと考えていました笑

最初に言いましたが、地学の壁はマイノリティーであることです。だからこそ、きつとこの科目を選択した方はもうこの科目が好きの方が多いでしょう。そんな人に気をつけて欲しいのが勉強分野の偏りです。一分野に偏るといのはとても危ないです。私はとても苦労してしまいました。楽しみながら幅広く知識を固めてください。地学は学習しやすい分野です。時間も正直なところあまり掛かりません。地学を自分の意思で選んだであろうみなさんなら大丈夫だと思います。しっかりと勉強を進めて、自信を持って受験に臨んでください。

このコロナ禍は、自学のことが多い地学選択者にとっては追い風だと思います。今年の受験は辛いことも多いと思われませんが、頑張ってください。微力ながら応援しています。

おすすめ参考書

・ひとりで学べる地学

薄く、綺麗にまとめてあります。初めて地学を本格的にやろう！という人が取り掛かりやすい構成、まとめ方になっています。また、直前の見直しとしてもとても良くて、私も本番前はこの本を持って行って眺めていました。この参考書を持っていれば基礎は大丈夫ですが、記述などには不安が残ると思います。

・もう一度読む数研の高校地学

前述の教科書よりも順序だった丁寧な説明がなされています。教科書をさらに読み物に近づけたようなイメージの本で、楽しく学習できて、基礎力、記述力、共にしっかりと安定したものが身につけられると思います。

09 合格体験記 前期・地理

前期日程 地理 地球学類1年 宮下 春樹

みなさんはじめまして。突然ですが地理は好きですか？理系で地理を二次試験で使える大学は多くなく、また筑波大学の二次試験地理科目はかなり特殊なので、普通は二次試験地理選択をおすすめしません。逆に言えば、地理が大好きであるか、得意科目である方にはとてもおすすめです！そんな地理好きのために、これから前期試験の地理科目についてお話しさせてもらいたいと思います。

まず地理科目の勉強スケジュールの目安を立ててみます。高三の四月～夏までに知識の整理をしましょう。ここで丁寧に整理することがとても肝要です。夏は論述問題の演習をしてみて、論述に必要な思考、テクニックを養いましょう。秋以降は一次試験の勉強に移行して、一次試験が終わり次二次試験の論述演習を再開しましょう。

さて、一次試験について、どんなに遅くとも七月くらいから、できれば四月から知識の整理を始めましょう。一次試験でのみ地理を使う方は十月頃でもギリギリ間に合いますが、(それでもおすすめはしません…)二次試験での利用も考えている方はできるだけ早めが望ましいです。知識整理の順番のおすすめは、まず自然分野を整理し、次に産業や村落、地誌などを自然と結びつけながら整理していくと場所や気候帯がきつちり頭に入ります。人口は気合いで頭に入れましょう。知識の整理がつき次第、センター試験の過去問などで該当分野の確認テストを行うと更に効率が良いです。秋以降は、一次試験特有の統計問題などに慣れましょう。それまでに二次試験の知識があれば八〇九割はすぐに到達できるかと思っています。

次に二次試験について、筑波大学の地理科目は三〇〇字論述問題が三問出題される、理科科目と合わせて一二〇分の制限時間など、非常に特徴的な試験形式です。また、難易度も標準よりもややレベルが高いので、しっかり対策する必要があります。

論述問題のレベルが高いと言っても、基本的には一次試験レベルの内容で十分です。その内容を正しく理解し、自分の言葉で完璧に説明することができれば、論述レベルの知識量と言えるでしょう。内容を正しく理解するには、高校や予備校の地理の担当教員に質問するのが最も確実です。一次試験レベルの知識では解けないのが読図問題です。読図専用の問題集というものは無いので、教科書の巻末などで読図方法を確認して、過去問で目と思考を慣らしましょう。

筑波大学の論述はとにかく長いです。通常の論述問題集を探しても三〇〇～四〇〇字論述問題はまずお目にかかれません。長文論述対策

は、高校や予備校の教員に問題作成を頼んでみるか、筑波大学の赤本を利用しましょう。文系用の地理問題と地球学類向けの地理問題が別々にあるので、両方解くと論述力が鍛えられます。

二次試験での地理科目は理科と同等です。理科の科目と同じペースで準備をしていきましょう。みなさんが地理を武器にして受験を乗り越えられることを祈っています。

おすすめ参考書

「大学入試 地理 B 論述問題が面白いほど解ける本 (KADOKAWA)」

地理論述問題集としてかなり完成されています。論述のテクニックも、正確な知識も、豊富な問題と的確な解説でしっかり身につきます。データが少し古いですが、論述のすべてが詰まっているような優秀な参考書です。

「新詳資料 地理の研究 (帝国書院)」

写真が少ない代わりに解説が異常なくらい詳しく載っている資料集です。この中身を網羅しきるのは知識過剰な面もあるので、辞書のように使うのがおすすめです。高校や予備校の教員の次に頼りましょう。

10 合格体験記 推薦入試

推薦入試 地球学類1年 山口 航佑

皆さんこんにちは。地球学類一年の山口航佑と申します。推薦入試という取っ付きにくいイメージがある方もいるかもしれませんが、少しでもそのイメージが変わると幸いです。

僕が推薦入試を使うと決めたのは高三の七月頃でした。対策を始めたのは夏休みが明けてからだったので、皆さんも十分間に合います。

推薦入試は出願時に志望理由書を提出し、小論文と面接の試験が行われます。順番に紹介したいと思います。

・志望理由書

志望理由書を書き始めたのは九月頃でした。国語の先生に添削をお願いすると思います。大切にしたいのは「自分にしか書けない志望理由書を書く」ことです。自分が筑波大学に行きたい理由、具体的にどんな研究をしたいのか（個人的には一番大事だと思います）、高校時代に得たものはなんなのか、といったことを自分の言葉で書き、自分だけの志望理由書を作り上げてください。内容は面接で聞かれるので、頭の中に書いた内容を叩き込んでおくのはマストです。

・小論文

大問三つから成り、英語の読解問題、地理・地学に関する記述問題が出題されます。分量はその年によってまちまちですが、多くても四百字です。赤本や大学のホームページに過去問が公開されているので、過去五〜六年分は解くことをおすすめします。なお解答は掲載されていないので注意。十月頃から過去問を解き始めました。解いた問題は英語の先生や、地理の先生（いれば地学の先生）に添削してもらいましょう。

（英語）

英文は地理・地学に関連した内容が多いです。難易度的には前期入試の英語をしっかり勉強していれば大丈夫、といった程度だと思います。基礎を疎かにしていると足元を掬われるので、英単語・文法は網羅しておきましょう。また多少専門的な意味で英単語が使われているので、地学の知識があると全体の流れを掴みやすいと思います。

（地学）

自分は独学で勉強しました。ネットで地学の教科書が購入できるので、気に入ったものを購入することをおすすめします。過去問を解いていく

と、よく出題される範囲が分かってきます。その範囲を隅から隅まで読み込んだ上で暗記するだけでなく、どのようにして現象が起こるのか、ということと言葉で説明できるようになる必要があります。なので、とにかく書く練習をしないと上手くなりませんが、書けば書いただけ上達はします。一度解いた問題を解き直し自分の言葉で書けるようになっていくかどうか、欠かさずチェックしましょう。

・面接

自分の伝えたいことは絶対に伝えてください。文章を丸暗記するのではなく、伝えたいことを箇条書きでまとめておくと、自分の考えの整理にもなります。質問される内容は興味のある分野や、高校での実績、将来の夢などです。特に興味のある分野についてはかなり深く質問されるので、詳しく調べておくと思います。また質問されそうなことは事前に答えを考えておくと、その場でパニックになることを避けられると思います。ずっと緊張していると精神的に保たないです。控室で自分の試験番号が呼ばれてもすぐに面接が始まらないときもあります。難しいとは思いますが、スイッチの切り替えをしっかりとしましょう。僕は控室で他受験生が面接対策をしている中、一人英文法書を見ていました。

・最後に

いかがだったでしょうか。推薦入試の魅力は何と言ってもチャンスが一回増えることです。どんな人でも挑戦する価値はあります。また試験が終わると「絶対に地球学類に入りたい！」と改めて強く思います。このご時世、先行き不透明な状況ですが、皆さんに来年の春会えることを楽しみにしています。頑張ってください！

おすすめ参考書

・地学 改訂版（啓林館）

文科省検定済みの教科書です。まずは地学基礎・地理の参考書から勉強してから読むといいと思います。とにかく情報量が多い上に、とても分かりやすいです。推薦入試を使わない人にもおすすめしたい一冊。

・目からウロコになるほど地理講義 系統地理編（学研出版）

高校一年生ぶりに地理を勉強する人、地理を履修していないのに推薦入試を目指す人に（自分へのプーメラン）。写真やイラストが多く、非常に読みやすく理解しやすいです。先生と生徒の講義風に書かれています。

11 合格体験記 推薦入試

推薦入試 地球学類1年 小原 百恵

皆さんこんにちは、地球学類一年の小原百恵です。私は推薦入試についてお話しします。

推薦入試は志願書を提出し、十一月下旬に小論文と面接の試験が行われます。ここでは志願書・小論文・面接の三つに分けて説明します。

① 志願書

志願書の内容は主に「どんな研究がしたいのか」「なぜ筑波大学を選んだのか」を書く必要があります。そして、その内容は具体的かつ明確でなければいけません。私が志願者を書き始めたのは九月ごろからで、自分の研究したいことが書かれている論文をいくつも読みました。そして高校の先生に何度も見てもらい、納得のいく文章ができるまで沢山書き直しました。ここで書いた内容は面接の時にも聞かれるので、受験するための軸をしっかりさせるつもりで取り組むと良いと思います。

② 小論文

小論文は大問三つの構成で、英文の読解問題と地理または地学に関する問題について百〜四百字程度で記述する問題です。試験対策はまず推薦入試の赤本を解くことだと思います。私は夏から取り組み始め、過去七年分を各三回ずつ解きました。採点は夏休みの期間中に英語の先生や地学の先生にお願いして、知らなかった知識は先生に教えてもらっていました。

英文は地理や地学に関係する内容が多く出題されており、英文を読み取り要約するだけではなく、地理や地学の知識を記述する問題もあります。そのため知識量を増やす意味でも過去問は沢山やったほうがいいと思います。私の受けた年の問題は過去問とよく似た問題が出たので、解答を覚えるぐらいやっておいて良かったと思いました。

③ 面接

面接は、自分一人に対して面接官三人と向かい合わせになって行われます。ここでは主に志望理由について聞かれます。時には志望理由に関する地学の知識を聞かれることもあります。わからない時は無理せずわかりませんと言ってしまうと思います。そこまでギリギリの雰囲気はなく先生も優しいようで、過剰に怖がらなくて大丈夫だと思います。

私は十人くらいの先生に面接練習をお願いして、とにかく回数をこなしました。先生によっては痛いところを突かれる質問がくる時もあるのですが、面接練習によって自分がしたいことがより明確になるかもしれないですね。自信をつけるためにも色々な先生に練習を依頼するのをオススメします。

面接の際に気をつけた方がいいことは、軸をぶらさずに話すことです。軸さえしっかりしていれば、色々な角度から質問が来てもある程度対応できると思うので、自分が研究したいことについては深く調べておくと思います。

最後に、推薦入試は地球学類に入りたい意志がしっかりしている人には良いチャンスだと思います。しかし普段の受験勉強にプラスして試験対策をするため、一般に向けた勉強時間が少なくなるなどのリスクはありますし、地学の授業がない学校も多いと思うので自分で学ぶのも大変かもしれません。ですが、推薦入試のための勉強は大学に行きたい気持ちが高めてくれるので決して無駄にはならないと思います。私はもし一般になっても地学を使おうと思っています、それは好きこそものの上手なれだ！と思っていたからです。そして、それら沢山の苦労を乗り越えられたら嬉しいことが待っているはずです。推薦入試を受けたいと思っている人は是非チャレンジしてみてください。

以上で推薦入試の合格体験日記を終わります。推薦入試を考えている人の役に立てたら嬉しいです。受験生の皆さんと春に会えることを楽しみにしています！

おすすめ参考書

・もういちど読む 数研の高校地学（数研出版）

この参考書を何度も読んで勉強していました。図や写真が多く、わかりやすい解説なのでオススメです。また、過去問の答えがこの本のコラムみたいところに載っていたこともあるので、深い知識を得られると思います。

・ナショナルジオグラフィック（インターネット）

これは参考書ではありませんがよく利用していました。無料で登録できるウェブサイトです。ここには科学的な最新のニュースが載っているので、この中で問題になりそうな話題を自分なりにノートにまとめていました。

12 合格体験記 浪人

浪人生 地球学類1年 蒲生 采侑

皆さんこんにちは。地球学類一年の蒲生采侑です。私は一年間の浪人生活を経て、筑波大学に合格しました。

まず、現役時代を簡単に振り返りたいと思います。私は現役の時からの筑波大学の地球学類が第一志望でした。しかし、センター試験本番で大失敗してしまい、二次試験で挽回することが困難と考え、筑波大学ではない他の国立大学を受験しました。センター試験後はなかなかモチベーションが上がらず、国立も私立も全落ちという悲惨な結果でした。このようにして浪人が決定し、第一志望は変えずに地球学類を目指し続けることを決めました。

さて、そんな私が浪人生活で重要だと思ったことは次の三つです。

一つ目は「現役時代の失敗と向き合うこと」です。現役時代の失敗は人それぞれだと思いますが、私は主に基礎の不足と苦手な分野の対策の不足でした。特に数学Ⅲと化学は、現役の時苦手意識がありました。浪人して基礎から学ぶことで苦手意識はなくなりました。浪人生は難しい問題に出会う機会も増えるとは思いますが、合格するのに重要なのは基礎を固めて、標準問題を確実に解くことであることを忘れないでください。また、苦手分野と自分が間違えやすいポイントの分析はいつでも行うことを心がけましょう。

二つ目は「自分に必要な勉強は何かを考えること」です。当たり前のことですが、人によって得意なことや苦手なことは違います。他の友達の勉強方法を参考にしたり、先生に相談したりすることも大切ですが、自分がやるべき勉強は自分にしかわかりません。自分に合った勉強法、どの教科にどれだけ時間をかけるべきなのかを考えながら勉強できるとよいと思います。

三つ目は「第一志望に合格するために必要な勉強をすること」です。私は現役時代、学んだことを定着させることに必死で、十分に過去問研究をすることができませんでした。浪人生が現役生と圧倒的に差をつけられるところは過去問研究などの実践的な演習に時間を割くことができるのだと思います。本当に行きたい大学であるなら、徹底的に対策をして出題形式や時間配分に慣れる必要があります。しかし、浪人生は現役の時より他の私立大学を受験する回数も増えると思います。いざ入試直前期になると他の大学の対策や入試で思ったよりも志望校の対策に時間が取れないこともあります。計画的に勉強を進め、第一志望校に合格するという目標を見失わないようにしましょう。

ここまで色々書いてきましたが、一年間勉強する期間をもらって

ることを忘れてはいけません。私にとって浪人の一年間は非常にあっという間で、今までの人生で最も短く感じました。一日一日を無駄にせず、気持ちが続いたら去年の失敗を思い出しましょう。浪人生が現役生と差をつけられるのは勉強量と経験です。できることはたくさんあるので、最後の一分一秒まで諦めずにこの一年間を充実したものにしたいと思っています。そして、この一年は私にとって色々な人に支えてもらっている和最も実感した一年でした。成績が思うように伸びずに辛かった時、家族、浪人して一緒に頑張る友人、大学生になった友人、先生など本当に沢山の人の支えてもらいました。周りへの感謝を忘れずに頑張ります。

最後になりましたが、私は現役時代の反省を活かして浪人した結果、筑波大学だけでなく、いくつもの私立大学にも合格できました。現役時代、全落ちした私でも一年間で何とかなったので皆さんもきつと大丈夫です。不安なことや辛いこともあると思いますが、たまには息抜きしながら、自分を信じて最後まで頑張ってください。来年、筑波大学でお会いできることを楽しみにしています。

おすすめ参考書

「物理重要問題集」(数研出版)

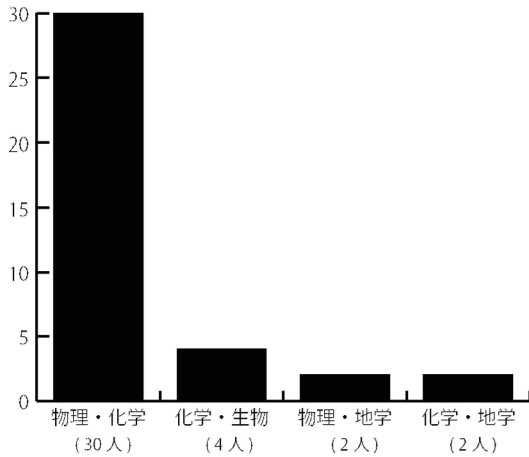
浪人生は同じ問題集を何周も解いて完璧にすることが重要です。重要問題集は様々な大学の入試問題から構成されており、重要問題集を完璧にすることで標準問題に慣れ、少し難しい問題にも対応できるようになります。

「大学受験 Do シリーズ 鎌田の有機化学の講義」(旺文社)

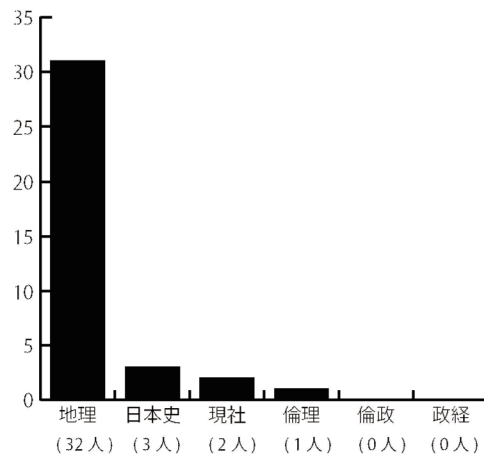
有機化学は決まったパターンが多いので、構造決定などが得意になれば大きな得点源になります。この参考書では、教科書よりも詳しく仕組みなどについて触れているので、理解して覚えることに非常に役に立ちます。

13 コラム

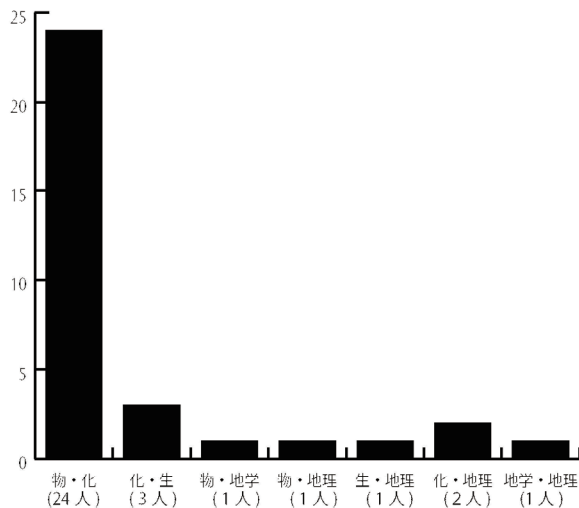
Q. センター試験での理科選択は？ (39 人)



Q. センター試験での社会選択は？ (39 人)



Q. 二次試験での理科・社会選択は？ (36 人)



《分析！》

このデータは、2018年度の地球学類入学者(2年生)にアンケート調査を行った結果のデータです。

これらの3つのグラフを見ると、理科の選択科目は物理・化学、社会の選択科目は地理を選ぶ人が例年多いです。しかし、だからと言って物理・化学と地理を受験科目に必ず入れる必要はありません。この結果からもわかるように、少数派ではありますが、生物や地学を使った受験、日本史や倫理を使った受験等と様々な受験科目の選択方法があることがわかります。何より大切なのは、得意科目や好きな科目等、自分から進んで勉強をしたいと思える教科を受験科目に選ぶと良いと思います。

受験を控えている皆さん、大学受験のために沢山の知識が身につけられることを楽しみながら勉強しましょう！！

試験当日の持ち物

試験当日持つていくべき持ち物リストをつくってみました！忘れ物がないように、万全の準備をして挑みましょう！

☐ 受験票（前期と後期の受験者はセンター試験の受験票も必ず持参すること）

☐ 時計

☐ ティッシュ、ハンカチ

☐ お弁当、飲み物

☐ 防寒対策

☐ （ひざ掛け、使い捨てカイロ等）

☐ バス時刻表（降りるバス停を要確認）

☐ 参考書

☐ 筆記用具

☐ （シャープペン可、念のため鉛筆も持つてくると良い）

☐ 不屈の精神（一番大事！）

☆一言アドバイス

前期入試を受ける人は、ホテルの予約を早めにとるのがオススメです。受験会場により近いホテルだと、時間や心に余裕が生まれます。

450
Earth
sciences

第3章 学生生活編

第3章では、みんな気になる大学生活のあれこれについて紹介します！

01 つくば市について

-つくば市基本情報-

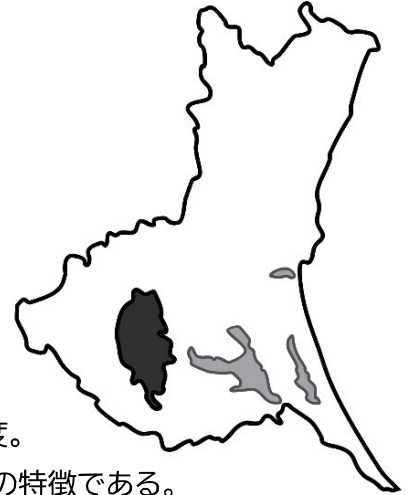
- 茨城県南部に位置する。人口はおよそ 24.3 万人(2020.5.1 推計人口)
- つくば駅からつくばエクスプレスを使って 45 分程度で都心に出られる

地名の由来

縄文時代、筑波山周辺は海であり、「波がよせる場」すなわち「着く波」となったなど複数説がある。

つくばの気候

年間平均気温が 15.3 度と比較的温暖(2018 年)。降雪は年に 2～3 回程度。特に冬季に吹く「筑波おろし」とよばれる乾いた冷たい風は、筑波山南部地域の特徴である。



-筑波山-



つくば市の北端にあり、つくば市のシンボルである山。日本百名山の一つにも数えられており、「西の富士、東の筑波」と称せられる。

バスで麓まで行きロープウェイやケーブルカーを使えば誰でも簡単に登頂できる。しかし標高 877m とそれほど高くないのでぜひ歩いて登ってみてほしい。斑レイ岩の奇岩群を間近に楽しむことができる。

麓まで自転車で行ってみるのも、長閑な田舎の風景を感じることができてまた一興である。

-つくば市の芝生生産-

実はつくば市は芝生の生産量が日本一である。

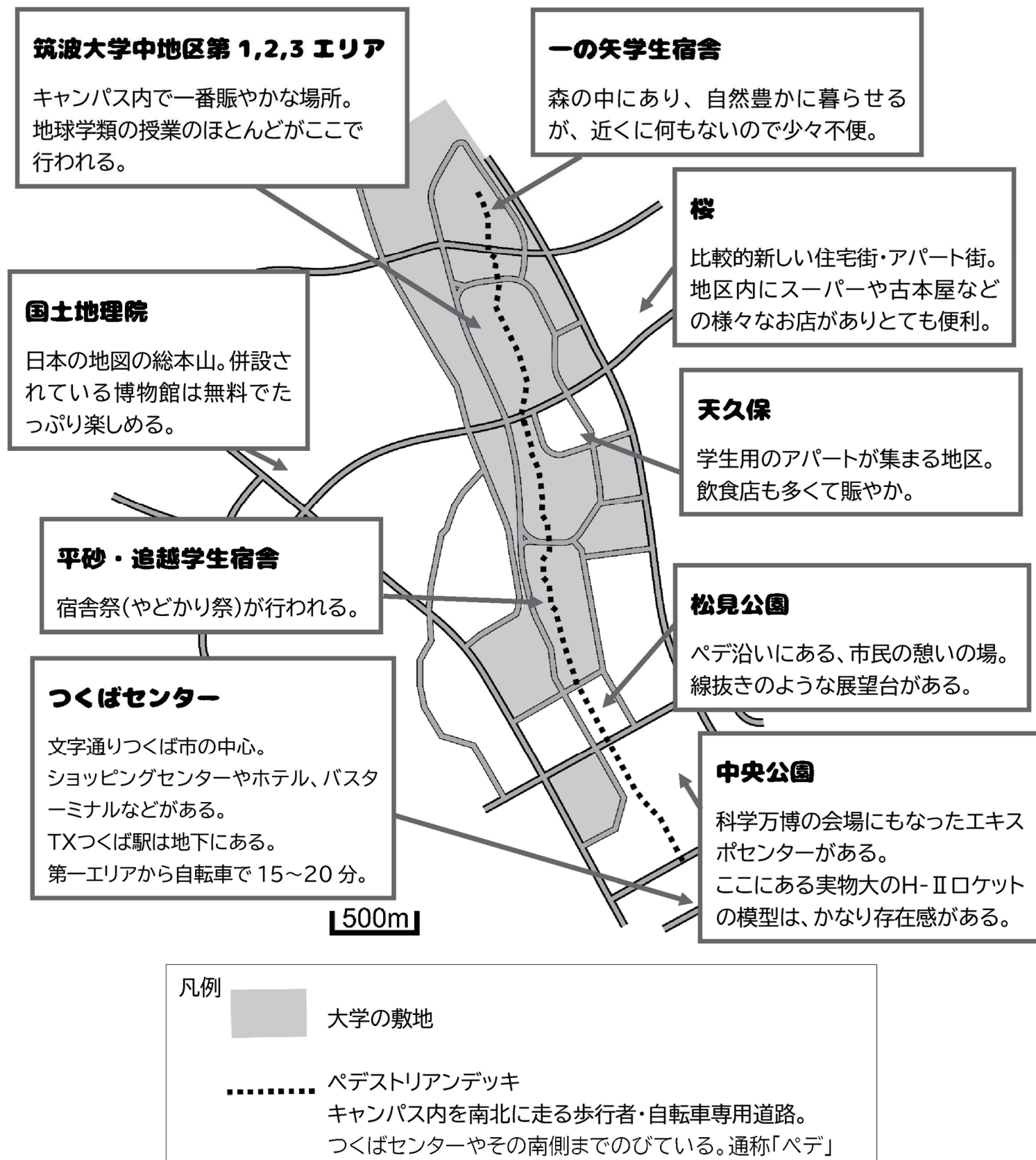
第二次世界大戦が終わるまで陸軍西筑波飛行場として使われていた大穂地区の白水。現在のつくば市では北西部に位置する。戦後荒地となっていたこの地に入植した農家は最初、サツマイモや落花生などの栽培を試みるも土地が痩せており十分な収穫が得られなかった。そこで自生していたノシバを採取して出荷していた。その後 1950 年代後半にはゴルフブームに伴い芝の需要が増加、この地での本格的な芝の栽培が始まった。

芝の生産は周辺地域にも広がり、今ではつくば市特有の文化的景観となっている。



参考文献:「つくば市を中心とした芝栽培の地域的展開」(1992、小野寺ほか)

02 大学周辺案内図

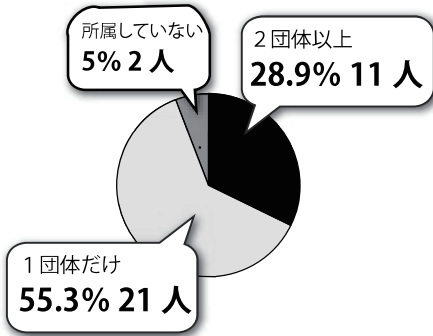


03 サークル紹介

Q. 地球学類2年生に質問しました。

部活・サークルに所属している？

(回答数 38 人)



大学生活の中で一つの大きな楽しみであるサークル活動。高校までの部活動と比べ、種類や規模、自由度がグッと増します。

筑波大学には、大学から認定を受けて大学施設を優先的に利用できる 140 の課外活動団体と、認定を受けていないが許可はされている 110 の一般学生団体があります。この他、非公式に活動する学生団体も多数存在します。(平成30年4月1日現在)

左のグラフからわかるように、地球学類生のほとんどの人がサークルに所属し、様々な活動に取り組んでいます。ここでは2年生自身が所属する部活・サークルについて紹介します。個性豊かな団体が沢山あるので、自分にピッタリなものを見つけてみてください。



混声合唱団

豊永

ここでは本格的に合唱をやりたいという人たちが集まって、12月の定期演奏会に向けて日夜練習に励んでいます。合宿やアンサンブル大会などイベントも盛りだくさんで、充実した日々を過ごせると思います！



ジオネットアース

近藤

ジオネットアースは地球学類が中心となって活動している一般学生学術団体です。主に、化石や鉱物を採集したり、地層や天気を観察したりと地球学ならではの巡検の他に、学園祭で展示やイベントも行います。



ジャグリングサークル Sheep

茂木

ジャグリングとバルーンアートを日々練習し、学園祭や定期公演、企業や自治会からの依頼でパフォーマンスを行います。様々な世代の方と交流できて、観客の皆さんの笑顔を見られるのは私たちパフォーマーの特権ですね！



学園祭実行委員会

梶田

筑波大学の学園祭である雙峰祭を1から作り上げていく集団です。200人以上からなる大きな集団で、皆仲も良く、全体が一丸となって学園祭の成功させます。

03 サークル紹介・続

紹介したサークルの他にも、

- 陸上競技部 ●海洋研究会 ●TOJO K-ON(軽音楽) ●野外活動クラブ ●野生動物研究会 ●天文研究会
- つくばフォーク村 ●ポケモン大好きクラブ ●剣道同好会 ●クイズ研究会 ●現代視覚文化研究会
- PBCM(軽音楽) ●焼き物をつくる会 ●ピアノ愛好会 ●ULIS バレーボール ●ULIS バドミントン

などなど、多種多様なサークルに所属しています。



オリエンテーリング部 祖父江

オリエンテーリングは高精細な競技用の地図を片手に森や公園や街を走り回る、とても爽快なスポーツです!自然や運動が好きな人はもちろん、旅行や温泉、地図が好きといった人にもおすすめです。



天文研究会 松本

名前の通り夜空に浮かぶ星を眺めるサークルです。主な活動内容としては週末の定例観望や月一度の遠征、春の新歓合宿や夏のメインイベントである夏合宿などがあります。自分のペースでゆったり楽しめるサークルです。



卓球同好会 白石

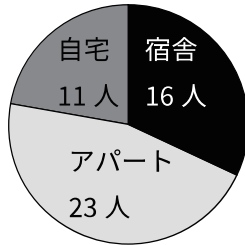
卓球同好会、通称卓同では、毎週土曜と日曜の18:00~21:00の間、第3体育館というところで練習しています。いい意味ですごくゆるいサークルなので、誰でも気軽に参加できます。もちろん初心者の方も大歓迎です。ぜひ一度足を運んでみてください。



04 住まい事情

つくば暮らし、十人十色

筑波大学に通っている学生の生活スタイルには大きく分けて三パターンあります。家族と暮らす自宅から通学する、「宅通（たくつう）」、大学の宿舎で一人暮らしをする「宿舎民」、大学周辺のアパートやマンションを借りて一人暮らしをする「アパ民」の三つです。これら三つの生活スタイルにはそれぞれ長所や短所がありますが、実際に暮らしてみないことにはわかりません。



(地球学類1年生50人にアンケート)

宅通民

宅通の魅力は何と言っても、家に帰れば暖かくて栄養満点なご飯と、温かくゆっくり浸かれるお風呂、そして家族が待っていてくれることではないでしょうか。家に帰っても、おかえりと言ってくれる人もいなく、夕方になると夕食の献立に悩む宿舎民やアパ民からすると、とてもうらやましいことです。また、家族の目があることから、生活のリズムを保つことができ、比較的遅刻率が低いように感じられます。

しかし宅通にも難点があります。それは通学にかかる時間です。多くのサークルが六限終了後の午後六時から九時ごろもしくは休日に活動しています。帰宅時間に制約のある宅通は、そうした活動への参加が困難です。つくば市や土浦市などの近隣にお住まいの方には宅通はお勧めですが、遠い場合には自分が大学で何をしたいかをしっかり考えて決める必要があります。

アパ民

アパートの家賃はピンからキリまでありますので、予算などは親御さんと相談して決める必要があるでしょう。しかしながら、宿舎と違いアパートでは広々とした比較的きれいな部屋に住むことができます。

宿舎にも生活に最低限必要な広さと設備は整っていますが、一年も暮らしているとやはり収納スペースが不足してきます。また、宿舎と違いキッチンやトイレ、洗濯機、お風呂などが共用でなく自分専用で使えます。

費用を重視して家賃の安いアパートを探すと大学から遠い、部屋が狭いなどの妥協をしなければならぬ点も出てきます。宿舎では格安、もしくは無料で利用できる水道・ガス・電気・インターネットの費用を物件にもよりますが、自分で支払わなければなりません。しかしながら、最近ではインターネット完備の物件が増え、電気も電力自由化によって費用を抑えることができます。自分に合う物件を探しましょう。

最後に、アパ民は自分の部屋に友達を呼んでワイワイ楽しく集まることができます。ただし、近所迷惑にならないように注意しましょう。

宿舎民

筑波大学の特徴に、約四千人余りを収容できる宿舎があります。民間アパートに比べると、はるかに安く暮らすことができ、共用のキッチンを使って自炊することができ、一人暮らしスキルも身に付きます。

そして宿舎の良いところは何と言っても大学に近いことです。「平砂」「追越」「一の矢」どの宿舎からでも地球学類の授業が行われる第一工リアまでは自転車です。また、宿舎では毎年多くの新入生が一人暮らしを始めるので、同じ境遇の仲間同士、仲良くなることもできるでしょう。

どの宿舎に入居できるかは、年度や学類に異なりますが、例年地球学類生は「一の矢」に入居します。

宿舎には改修されて比較的きれいな改修棟と昭和の趣を残した古くてあまりきれいとは言えない未改修棟とが存在しています。しかしながら、「未改修棟に住んでいます。」という新入生は聞いたことありません。

宿舎に住めば、話のネタに困らないくらいたくさん思い出ができます。

○地球学類生の一面。。。一年生は宅通だった人が二年生からつくば住みになったりすることもある。

食

一人暮らしで気になるのはやはり食事のこと。これに関しては本当に人それぞれです。宿舍の食堂は平砂共用棟で昼のみ。大学内の食堂もありますが、営業時間は店舗によってさまざまです。おおよその店舗が昼前から夕方まで営業しています。もちろん自炊するのもあります。アパートでは自分の部屋のキッチンや、宿舎では共用の補食室を使って料理することが可能です。大学に自分で作ったお弁当を持ってくる弁当男子もいます！

忙しいときには、どうしてもコンビニやスーパーで買ったお弁当やお惣菜に頼ることが多くなってしまうことも事実です。（夜中にお惣菜やお弁当を大幅に値引きするスーパーも大学の近くにありません。）サークルの活動の後でみんなで食事に行くことも楽しいですよ。

交通

筑波大学周辺は移動が大変なイメージがありますが、車で移動する人はあまり見かけません。大学周辺に住む人でしたら、つくば駅から出発し大学内を循環する大学循環バスと自転車です。また、大学循環バスの利用には、筑波大生向けの、一年間有効な定期券を利用することができます。（値引き率がすごくお得です！）

また、筑波大学はつくばエクスプレス線のつくば駅に近いので、つくばエクスプレスを使って最短四十五分で秋葉原に出ることも可能です。北関東でありながら、同窓会やお買い物などで気軽に都内に遊びに行けるのは魅力的です。お得な回数券や、格安の高速バスなどで交通費を節約できる裏技も…！

生活

まずは、筑波大生の買い物事情についてです。2018年の秋に平砂宿舎の敷地内に茨城県に多い「カスミ」というスーパーができました。通称「平カス」と呼ばれ、これにより買い物事情が大きく変化しました。以前までは、大学から二〜三キロ東側の桜地区のスーパーや小売店を利用する学生が多かったです。しかし、大学構内にスーパーができたことで授業のない時間に買い物に行けるようになり、買い物やすくなりました。

少し遠いですが、大学周辺にはホームセンターや家電量販店もあり買い物に困ることはありません。また、研究学園のほうへ足を伸ばすとイースというショッピングモールがあり、さらに足を伸ばしてつくばから近い阿見のアウトレットでショッピングもできます。

アパート

筑波大学周辺の「春日」「天久保」「桜」の三地区にアパートが多く立地しています。この三つの地区の中で基本的に最も家賃が安いとされているのは「春日」の地区ですが、スーパーや飲食店が近く、暮らしに利便性を求めるなら「桜」地区のアパートがお勧めです。ただ、「桜」地区には大学循環バスが通っていないため、やや交通は不便と言えるでしょう。地球学類の中では、地球学類の授業がある第一エリアに近く、循環バスも通っていてどこに行くにも便利な「天久保」地区に住む人が比較的多い印象があります。

宿舎に入らず、入学前にアパートを選ぶ際には、不動産屋に問い合わせをして、自分で部屋を見て、納得のいく物件を探しましょう。

	宿舎	アパート
家賃	家賃・共益費合わせても1か月に2万円ほど。棟のタイプにより若干の差があります。	家賃・共益費3～7万円程度。宿舎よりは高いですが、もちろん東京のアパートよりは安いです。
風呂	共用風呂（平砂のみ）は営業時間が限られ、各棟に24時間使えるシャワー室があります。	いつでも好きな時にお風呂とシャワーが使えます。
キッチン・洗濯機	いつでも自由には使えませんが、共用の補食室とコインランドリーがあります。	好きな時に使えますが、購入や故障したときの対応は自己負担です。
光熱費	電気代は団体料金で格安、水道・ガスはタダ。インターネットもタダで使えます。	電気・ガスは実費。水道・インターネットは共益費に含む場合もあります。
面積	約6畳。実際ベッドや机が備え付けられているのでもっと狭く感じます…	収納スペースがほしい人はアパートの方がおすすめです。
エアコン	冷房が必要なら別料金でリース。宿舎暖房は調節できません。	設置されている物件が多いですが、使いすぎると電気代がかさみます。
友人	すぐ近くにたくさんの友達ができます。	多少遠くても、広さを武器に友達が呼べます。

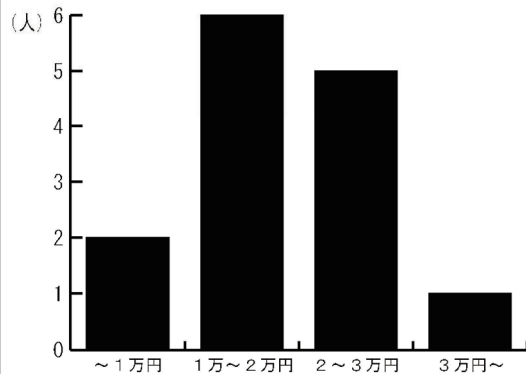
◎地球学類生の一面：友達のアパートに集まって自炊パーティーをしたり、一人暮らしが多いからこそその楽しみもあります。

05 経済事情

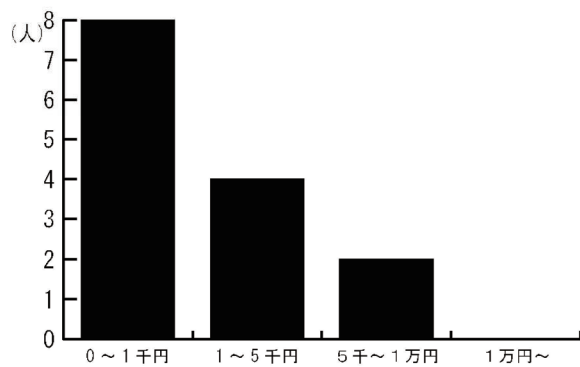
「大学生ってどのくらいお金を使うの?」、「一人暮らしにかかるお金は?」、
「仕送りいくくらい必要なの?」、「宅通の人はどんなことにお金を使うの?」
といった疑問にアンケート結果からお答えします!!

★実家住まい

Q1. 一か月に自分で使う食費は? (14人)



Q2. 一か月あたりに使うサークル費は? (14人)

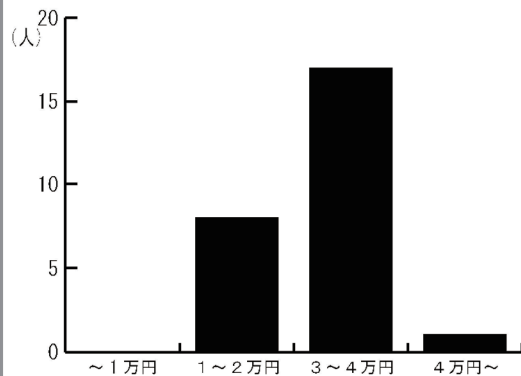


《分析》

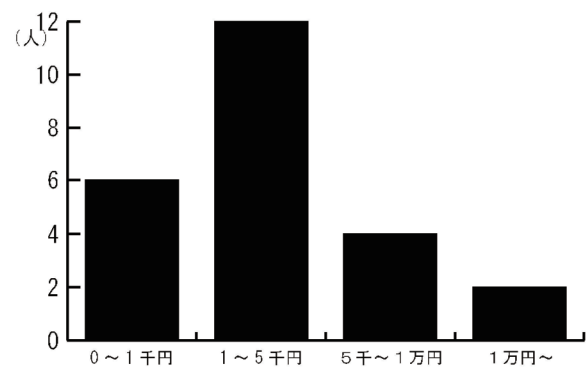
宅通民は食費、サークル費ともに費用が安い傾向にありますね。やはり、お弁当を家から持ってくる人や、夜ご飯を家で食べる人が多いようです。また、通学の時間や終電など時間に制約がある為か、サークルへの参加は少ないようです。

★宿舎・アパート住まい

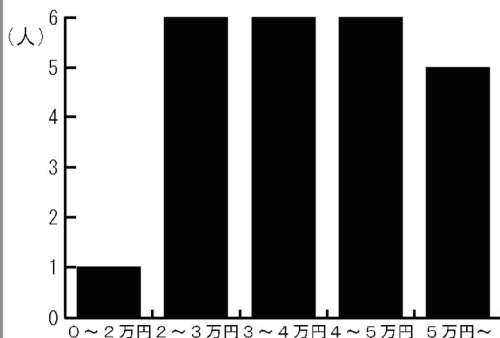
Q1. 一か月の食費は? (24人)



Q2. 一か月あたりに使うサークル費は? (24人)



Q3. 一か月の家賃は? (24人)



《分析》

やはり、宅通の人達に比べると、月に必要となってくる費用はかなり多いです。家賃の安いアパートを探したり、食費や光熱費を節約したり、バイトや仕送りのお金を工夫して大切に使うことが重要となってきますね。こういうところを工夫することも自立に繋がるんじゃないでしょうか。

○地球学類生の一画。。。地球という大自然が好きなのであって、みんな何かと旅行好き。行きたい場所を挙げると私も！と返ってくる人が多い。長期休みに自分たちで小巡検のような旅行に出かけたりしました。

06 アルバイト

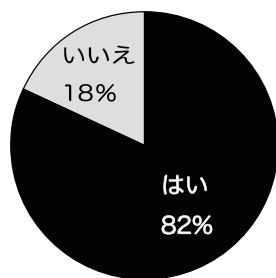
大学生生活といえば、勉強にサークルにアルバイト！

学校から離れて様々な人と関わることができるのもアルバイトならではの経験ですね！

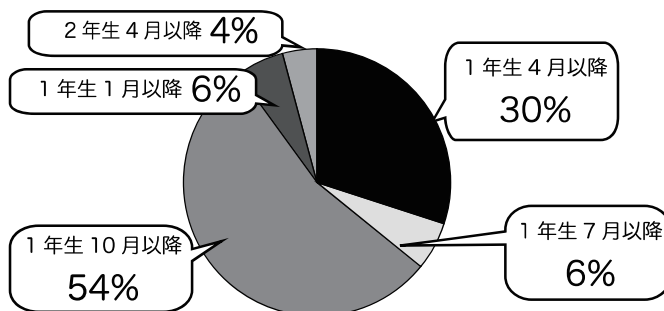
ここでは、アンケート調査をもとに、地球学類生のアルバイト事情を大公開します！！

(アンケートは地球学類2年生へ6月に実施)

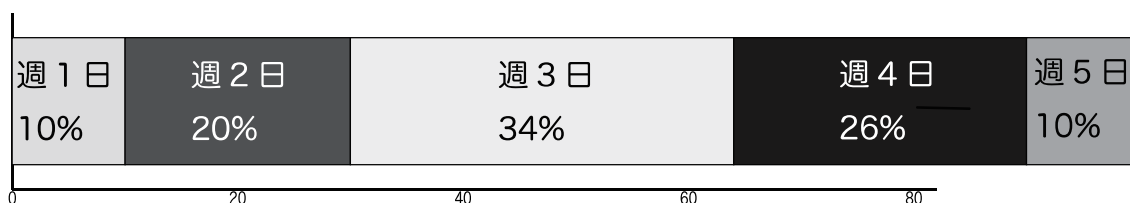
Q1. 現在、バイトはしていますか？



Q2. バイトはいつから始めましたか？



Q3. 週に何日働いていますか？



Q4. どんな業種で働いていますか？

1位 飲食店

2位 塾講師・家庭教師

3位 小売店（スーパー、コンビニなど）

☆やはり定番の飲食店や塾講師・家庭教師が人気ようです。また、下宿している学生は家から通勤しやすい大学周辺で働く人が多いです。

☆ほかにはアパレルやホームセンター、倉庫整理で働く人、なかには飲食店と派遣のアルバイトを掛け持ちする人もいます。



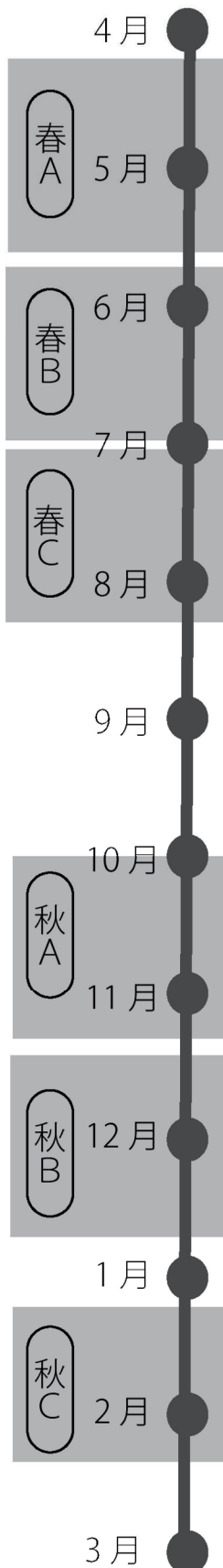
サークルや学類に所属しているだけでは接点のなかった人と関わる機会が増え、様々なことを学ばせてもらっています。自分で働いたお金で旅行に行くことを目指して頑張っています。

自分はバイトっていう感覚で働いているわけでも、お金を稼ごうと思っているわけでもありません。時間講師なのであくまで講師として勤めています。責任感はとても大事ですね。



○地球学類生の一面： 塾の講師や飲食店で働いている人は当然多いが、中には少数派だが研究補助などのアルバイトをする人も！！！！

07 筑波大生の1年間



入学式・新入生オリエンテーション

入学式が終わったのもつかの間、新歓祭やオリエンテーションがあります。サークルの新歓に行ってみましょう！

春季スポーツデー

年に二回、それぞれ二日間かけて開催されるスポーツの祭典です。学類やクラスの友人とチームを組んで団体競技に臨むもよし、一匹狼で個人競技に乗り込むもよしです。

やどかり祭 ★

平砂宿舎周辺で二日間にわたり開催される学生主催のお祭りです。春学期の最大イベントであり、ゆかたコンテストをやったり屋台を出したりします。クラスの間と仲良くなる絶好の機会です。

春A B 期末試験

★マークのついているイベントは、次のページにピックアップしたよ！
見てみてね！

春A B C 期末試験

夏休み！！！！

初めての夏休み！思う存分楽しみましょう！一年の夏に免許合宿に行く人が多いよー

10月1日開学記念日

雙峰祭 (学園祭) ★

名実ともに筑波大学における最大イベントです。作る側と見る側、両方の立場で楽しめます。近隣住民や他大学の方々も大勢訪れます。大学構内が一年で一番賑やかになる三日間です。

秋A B 期末試験

冬休み！！！！

年末年始は実家に帰って、久しぶりに親戚に会ったりのんびり過ごしましょう。

秋A B C 期末試験

春休み！！！！

テストが終われば春休み！二か月程あるので、旅行などを楽しめます！

卒業式

別れの季節です。上級生を送りだしたら、次は新たな後輩が入学してきます。そしてまた新しい一年が始まるのです…。

08 筑波大学の祭り

やどかり祭

宿舍祭（やどかり祭、通称やど祭）は、新入生が大学に慣れてきた5月下旬に平砂宿舍周辺で2日間開かれる、1年生主体のお祭りです。1年生がクラスごとに屋台を出店したり、「ゆかたコンテスト」というチームでステージに出演するイベントがあったり、この日のために作り上げたお御輿を披露したりと、ワイワイとした雰囲気のお祭りです。



雙峰祭

雙峰祭（そうほうさい）は毎年11月上旬に開かれる、本学全体を使って行われる数万人が訪れる関東の大学の中でも非常に大規模なお祭りです。各サークルや学類、委員会、学生団体などが屋台を出店するほか、ステージでの楽器演奏やパフォーマンス、後夜祭では花火が打ち上がるなどさまざまな企画が盛りだくさん。何か企画を出す側としても、また、見る側としても楽しめるイベントです。例年、近隣の方や地元の高校生など3万人以上の方が訪れます。例年は11月初めの土日を中心に3日間開催される予定です。ぜひぜひお越しください！

※ 2020年度はコロナウイルスの影響により開催未定です。



09 1学の地図

地球学類の学生は主に第一エリア、通称「一学」とよばれるエリアで講義を受けます。このエリアは筑波大学のキャンパスのほぼ中央に位置し、他に数学類・物理学類・科学類や人文学類・社会学類などが使用します。ペDESTリアンも通っているので日中は通行者や留めてある自転車でかなり混雑します。

筑波大学のキャンパスは広大で慣れるまでは講義を受ける教室を見つけるのも大変かもしれません。学期初めの授業で教室が分からなくて遅刻、なんてことも…。迷子にならないように注意しましょう！

ここでは一学の各施設を紹介します。

【1E棟・1D棟】

地球学類の学生はおそらくこの建物で授業を受けることが多いでしょう。休み時間などは1E棟の控え室で仲良く談笑している様子が見られる。

1D棟には地球学類生がよく使うサテライト室という、学生が自由にパソコンを使える部屋がある。ここにあるパソコンを使ってレポートを仕上げる人もいます。

【大気像】

第一エリアのシンボルともいえるべきの、妙なポーズをとった像。「大気」と銘打たれている。季節やイベントの際には学生によって装飾されることも…？

【自然系学系棟】

ここには自然科学系の先生や大学院生がいます。一年生や二年生がこの棟を利用することはあまりありません。

↑ 至 中央図書館



【1H棟】

一学で最も大きい教室がある建物。収容人数は350人程度。例年大学説明会の午前の部で利用している。

【松美池】

筑波大学のキャンパス内にある池のひとつ。魚や亀、水鳥が生息しているが水はあまり綺麗ではない。

池のほとりで音楽系サークルがライブをやることも。お昼時にはキッチンカーも出店し、ベンチで昼食をとる人もいます。

【1A棟】

一階には第一エリア食堂、二階に書籍部とスチューデント・コモンズ、三階には支援室がある。昼から夕方時間帯には二階にエスニック料理が楽しめる人気のスープファクトリーもオープンする。スチューデント・コモンズでは専門分野の違う学生や留学生と交流できます。

10 筑波大学用語集

筑波大学用語集

筑波大学には、誰もが知っていて当たり前略語が多数存在する。今回は、筑波大学地球学類の受験を考えているみなさんに、その一部をお教えしよう。

▼一学「エリア」

「第一エリア」の通称。かつて「第一学群」という呼び名であったことに由来する。地球学類の本拠地も第一エリアである。

▼ベデ「道路」

「ベデストリアンデッキ」の略。筑波大生はこれを利用して広大なキャンパスを往き来している。

▼ループ「道路」

「筑波大学内ループ道路」の略。キャンパス内の移動には自動車も利用されるため、大学内を一周できるように環状道路が整備されている。ここを民間のバスも走っている。キャンパス内を民間のバスが走るというのは、全国でも珍しい。

▼東大通り「道路」

「とうだいどおり」ではなく「ひがしおおどおり」と読む。筑波大学の東側を南北に走る、片側2車線の幹線道路である。同様に、大学の西側には「西大通り」(にしお

おどおり)がある。要するにつくばは大通りばかりなのだ。

▼OPT「委員会」

「新入生歓迎委員会 (Orientation Project Team)」の略。みなさんが筑波大学地球学類に入学したら、最初に会うのがOPTの先輩である。旧自然学類はアインシュタインの法被が目印である。

▼クラ代会「委員会」

「クラス代表者会議」の略。生徒会のような組織で、主なメンバーは各クラス3人のクラ代(クラス代表者)。

▼全代会「学生組織」

一見、中国の議会のようだが「全学学類・専門学群代表者会議」の略。大学生活に関わる様々な問題に取り組んでいる。

▼大説「委員会」

ついにきました。筆者の所属する「大学説明会委員会」の略。本冊子の作成や、今回の大学説明会

の運営補助などを行っている。

▼文サ「団体」

「文化系サークル」の略。また、学内に「文化系サークル会館」という施設も存在し、それを指すこともある。

「類義語」芸サ(芸術系サークル)・体サ(体育系サークル)

▼平共「施設」

「平砂共用棟」の略。略さないで呼ぶ人も多い。新歓の勧誘や集合場所としてよく使われる。

「類義語」追共(追越共用棟)など

▼ホケカン「施設」

「保健管理センター」の略。診察をしてくれる。診察費は500円(精神科は1000円)。別途薬剤費などが発生する。つくば市の病院と比べれば格安である。

▼学情「施設」

「学術情報メディアセンター」の略。筑波大学内のネットワークの心臓部である。窓口で、学内無線

LAN接続方法が分からないなどの相談に乗ってくれる。

▼CEGLOC「施設」

旧称「外国語センター」のことで、外国語の授業を受ける時に利用する。「CA棟」とも呼ばれる。なお、2019年7月より改修工事が行われている。

▼天3「住所」

「あまさん」と読む。「天久保3丁目」の略。筑波大生はこのように住所を略して呼ぶことが多い。他には「春日4丁目」を略して「春4(かすよん)」と呼ぶ例もある。

▼芝充「文化」

中央図書館前にある石の広場横の芝で充実したお昼のひと時を過ごすこと。仲良しグループやカップルが楽しくお弁当を食べている。中には一人でPCとにらめっこしている人もいるが、それも充実したお昼の一つなのである。

11 交通事情

自転車

つくばでの生活において自転車は欠かせません。授業の移動、食事、買い物、お出かけなど様々な場面で役立ちます。

そんな大事な自転車ですが盗難にあってしまうケースが多くみられます（全国トップレベルで自転車の盗難被害が多い）。二重ロックなどの対策をしましょう。

ちなみに学内には悪路もあるので、パンク対策と日頃の点検は欠かさないようにしましょう。筑波大学とその周辺には、坂が少ないので、自転車での移動は非常に楽です。

徒歩は無謀

つくばセンターから一の矢学生宿舍まで1時間近くかかります。最低でも自転車は必要です。

自動車

大学に入り免許を取得する人が増えるはず。自動車があれば行動範囲が一気に広がり、雨の日でも移動が楽になります。ただし、大学内の駐車場利用には申請が必要です。

筑波大学周辺

関鉄バス

[筑波大学周辺～つくば駅]

自転車の次に重要になるのが関鉄バスです。学内パスを購入すると年間8600円でつくばセンターから筑波大学循環線内が乗り放題になります。つくばセンター～筑波大学中央の正規運賃は270円なので32回乗車すると元がとれる計算になります。雨の日やTXに乗るときに利用することが多いです。自転車のほうが速い場合もあるので、その時その時で選ぶのがいいのではないかと思います。

時間はTXよりもかかりますが、東京駅へ1,150円（2020年度はIC運賃で上りのみ820円のキャンペーン期間中）でTXよりも安く、大学構内（筑波大学・大学会館・筑波大学病院）からも出ていて平日は浅草駅・上野駅でも降りられるので、時間に余裕があったり深夜帰る際に使うのがいいと思います（つくば駅から出る循環バスは午後10時に終わります）。また、ミッドナイトつくば号という深夜便もありますが運賃は2倍なので注意。

つくば号[高速バス]

[筑波大学～つくば駅～東京駅]

東京駅まで約90分 820円

※筑波大学から東京駅までの所要時間・運賃です。

東京

つくば駅

つくばエクスプレス [電車]

[つくば駅～秋葉原駅]

秋葉原まで45分 1205円

北千住まで34分 1048円

東京方面へ出る際に利用されるのが、つくばエクスプレスです。最高速度130km/hで最速45分で秋葉原へ行くことができ、陸の孤島と言われたつくばもこれが開通したことで大きく変わりました。

また、回数券をばら売りしている自販機で切符を購入すると、土休日用で最大200円ほど節約できます。ただ回数券は利用可能期間が限られているので、注意が必要です。



©2017 Satoru OKADA

12 あとがき

この度は地球学類のパンフレットをお読みいただき、誠にありがとうございます。今年は例年通りの開催ができず、情報不足や受験生方の要求に応えにくいものとなってしまいました。少しでも地球学類、ひいては筑波大学について少しでも理解を深めていただけたら幸いです。

地球学類の説明会は、大学職員の皆様や先生方をはじめ、多くの方々のご協力のもと、学生の熱意によって作り上げられています。このパンフレットは皆様に地球学類について詳しく知っていただくために、毎年改定を続けており、今年はこのような状況を顧みて特に力を入れて作り上げました。ぜひ隅々まで目を通していただき、受験勉強のモチベーションアップや、志望校選択の一助となれば非常に嬉しい限りであります。

自分自身の将来について選択し、自ら切り拓ていくことは非常に困難で勇気のいることだと思います。特に今年は思うように勉強することができなかったり、入試制度の変更等の問題に振り回されたりと大変精神的負荷が大きいものであったと推察します。しかしまだ時間はあります。じっくり考えて、後悔の無いように進路を選び勝ち取ってほしいと思います。

委員一同、地球学を志す皆様に応援いたしますとともに、筑波大学で出会えることを祈念しております。

地球学類大学説明会委員会 副委員長

梶田 大陽

編集・発行

地球学類大学説明会委員会

委員長 豊永 健人

委員 梶田 大陽

高畠 亮

小原 百恵

玉木 伶穂

近藤 征海

松本 栞

山口 航佑

宮下 春樹

白石 あゆ

茂木 大歩

三浦 むぎほ

盛 雅史

祖父江 有祐

蒲生采侑

筑波大学

<http://www.tsukuba.ac.jp/>

筑波大学生命環境学群地球学類

<http://www.earth.tsukuba.ac.jp/>



GEOSCIENCE

2020

